

【春期出発】 短期・1 セメスター留学 募集要項

※ 募集要項の内容に修正があった場合は、最新版をホームページに掲載します。

◆ 掲載コース一覧（作成時点の情報です。今後情報の一部に変更の可能性があります。）

◆ International applicants must refer to Section 9, "Notes for International Applicants" on page 10.

募集形式	カテゴリ No.	プログラム・コース名 派遣期間（日本発着）	日数	定員	単位	国・都市 （研修言語・要件）	滞在形態 参加費用（要項目安）
応募者多数の場合	A1	Global Fieldwork Project ホーチミン市人文社会科学大学 2027/02/28（日）～ 27/03/06（土）	7日間	30名	2単位	ベトナム（英語） ホーチミン	ホテル 16万円～22万円
	A2	Global Fieldwork Project パンニャサ大学 2027/02/21（日）～ 27/02/27（土）	7日間	30名	2単位	カンボジア（英語） プノンペン	ホテル 22万円～26万円
	A3	Global Fieldwork Project 淡江大学 2027/02/28（日）～ 27/03/06（土）	7日間	30名	2単位	台湾（英語） 台北	ホテル 23万円～30万円
	A4	異文化理解セミナー イリノイカレッジ 2027/01/31（日）～ 27/03/02（火）	31日間	26名	2単位	アメリカ（英語） ジャクソンビル	ホームステイ&寮 70万円～79万円
	A5	異文化理解セミナー ビクトリア大学 < 春出発NEW > 2027/02/28（日）～ 27/03/29（月）	30日間	40名	2単位	カナダ（英語） ビクトリア	ホームステイ 62万円～69万円
	A6	異文化理解セミナー トロント大学 2027/02/07（日）～ 27/03/07（日）	29日間	40名	2単位	カナダ（英語） トロント	ホームステイ 74万円～80万円
	A7	異文化理解セミナー クイーンズランド工科大学 2027/02/12（金）～ 27/03/15（月）	32日間	43名	2単位	オーストラリア（英語） ブリスベン	ホームステイ 53万円～58万円
	A8	異文化理解セミナー ヨーク大学 < 短期NEW > 2027/02/07（日）～ 27/03/10（水）	32日間	30名	2単位	イギリス（英語） ヨーク	協定校施設・寮 77万円～84万円
応募書類にて 選考	B1	Advanced GFP チェンマイ大学 2027/02/13（土）～ 27/02/23（火）	11日間	30名	2単位	タイ（英語） チェンマイ	ホテル 18万円～24万円
	B2	現地で学ぶ初修語セミナー 北京大学 2027/02/28（日）～ 27/03/27（土）	28日間	24名	2単位	中国（中国語） 北京	協定校施設・寮* 25万円～29万円
	B3	現地で学ぶ初修語セミナー 高麗大学 2027/02/14（日）～ 27/03/13（土）	28日間	40名	2単位	韓国（朝鮮語） ソウル	ホテル 33万円～35万円
	B4	現地で学ぶ初修語セミナー トゥールーズ大学 ジャン・ジョレス校 2027/02/27（土）～ 27/03/24（水）	26日間	36名	2単位	フランス（フランス語） トゥールーズ	ホームステイ 65万円～79万円
	B5	現地で学ぶ初修語セミナー ライプツィヒ大学 2027/02/14（日）～ 27/03/14（日）	29日間	25名	2単位	ドイツ（ドイツ語） ライプツィヒ	フラットシェア 57万円～65万円
	B6	現地で学ぶ初修語セミナー アルカラ大学 2027/01/30（土）～ 27/03/01（月）	31日間	35名	2単位	スペイン（スペイン語） アルカラ デ エナレス	ホームステイ 58万円～71万円
	B7	海外スタディ マレーシア工科大学 2027/02/16（火）～ 27/03/05（金）	18日間	25名	2単位	マレーシア（英語） ジョホールバル	協定校施設・寮 32万円～37万円
	C1	1セメスター留学 立命館・ワシントン大学 「持続可能な社会とイノベーション」 2027/03/28（日）～ 27/07/18（日）	113日間	25名	10単位	アメリカ(英語要件有) シアトル	ホームステイ* 133万円～185万円
	C2	1セメスター留学 立命館・UCデービス校 「アメリカの言語・文化・社会」 2027/03/31（水）～ 27/09/05（日）	159日間	30名	16単位	アメリカ(英語要件有) デービス	ホームステイ 224万円～236万円

▶ 電話問い合わせ ☎ **077-561-4881** **立命館留学サポートデスク**（平日 9:00～17:00）

▶ リクエストフォーム
による問い合わせ



▶ 交換留学・国際 PBL・UBC・アルバータを含め、全学募集の留学プログラム
に関する対面相談は、各キャンパス国際教育センター窓口へ

目次	1. 本要項掲載 留学プログラムの特徴	・・・	p.1
	2. 応募前の確認事項	・・・	p.2
	3. 応募から合格までのスケジュール	・・・	p.3
	4. 合格から出発までのスケジュール	・・・	p.4
	5. 応募方法と留意事項	・・・	p.5
	6. 抽選結果・合格発表	・・・	p.6
	7. 選考プログラムについて	・・・	p.7～8
	8. 応募資格	・・・	p.9
	9. 外国籍応募者への留意点	・・・	p.10
	10. プログラム・コース別情報	・・・	p.11～28
	11. 参加費用について	・・・	p.29
	12. 奨学金と経済的支援	・・・	p.30
	13. 学籍と履修について	・・・	p.31
	14. ホームステイコース応募の承諾事項	・・・	p.32
	15. 海外留学プログラム参加に関する承諾事項	・・・	p.33～35
	16. 海外留学プログラム参加に関する承諾書	・・・	p.36
	17. 合格後に向けた手続準備について	・・・	p.37

1. 本要項掲載 留学プログラムの特徴

1) 経済的支援と参加しやすい費用の追求

本学から参加者全員に、海外留学への参加を奨励するための奨学金（特別な手続きや返済は不要）と、2025 年～2026 年に限り、円安による費用高騰を緩和するための臨時支援策を提供しています。

※ 詳細は「12.奨学金と経済的支援」をご確認ください。

また、留学先大学が運営するプログラムを、仲介業者を介さずに手配し、航空券については、複数旅行社からの提案を比較検討して手配することで、参加費用負担の軽減を追求しています。

※ 参加費用負担軽減の観点から GFP・AGFP 以外のコースは、原則、引率教員や添乗員は同行しません。

2) 単位授与・学籍

留学プログラムの受講により、受講内容に応じた単位が授与されます。また 1 セメスター留学プログラムの場合でも、学籍は「留学」となり、制度上、標準修業年限内での卒業が可能です。

3) 渡航手続きのサポート

航空券は本学が手配し、留学先大学への就学や渡航に関する必要な手続きはガイダンスなどで案内・サポートすることで海外留学や海外渡航が初めての方も、安心して参加することができます。

4) 危機管理

留学先の地域で事件や災害などが発生した際、学生の安否確認や保護者への情報共有を行い、留学中の参加者個別のトラブルに 24 時間対応する、危機管理・相談窓口システムを構築しています。また参加者全員に、大学で包括契約をしている海外旅行保険の加入を義務付けています。

2. 応募前の確認事項

合格した際は、立命館大学の「**正規の留学生**」として派遣されることになるため、参加にあたっては本要項の末尾に掲載されている「**15. 海外留学プログラム 参加に関する承諾事項**」を理解し、遵守することが条件となります。

これまでに、参加承諾事項の理解が不十分で、合格後に取消料を支払って辞退したケースも発生しています。特に重要なポイントを以下に掲載しますので、必ず確認してから応募してください。

1) 応募資格を有し、心身ともに留学できる状態であること

持病や精神面での不安がある場合は、事前に必ず主治医に相談して応募（留学参加）の承諾を得てください。また必要に応じて、国際教育センター、または留学サポートデスクへ健康状態に関して申し出てください。

（保健センターや学生サポートルームに相談している場合でも、本人からの依頼がないと情報共有はされません。）

適切なタイミングで、事務局への健康状態に関する情報共有が無いことにより発生する不利益は、自己責任となります。

※ 出発年度の「定期健康診断」を受診することが、参加条件となります。必ず受診してください。

※ 応募資格については、「**8. 応募資格**」を参照してください。

2) 父母等の費用負担者へ、応募（参加）に関して承諾を得ていること

合格後の自己都合による辞退は認められません。父母等の理解を得ないまま応募し、合格後にトラブルとなるケースが発生しています。本要項「プログラム内容」「留学費用や支払時期」「参加に関する承諾事項」

「必要な手続」（宿泊形態がホームステイのプログラムは「ホームステイに関する承諾事項」）

など事前に情報共有のうえ、明確な応募（参加）の承諾を得てください。また、併願応募する場合において、第2～第3志望で合格した際も辞退はできないため、併願コースに関しても父母等の事前承諾が必要です。

※ 自己都合で辞退された場合は次回以降、全学募集の留学プログラム参加を制限させていただくことがあります。

3) ガイダンス、事前・事後講義へ出席し、各種手続きを滞りなく行えること

指定されたガイダンスや講義には必ず出席してください。（p.3～4 のスケジュールを参照）

体調不良などを含め、欠席した場合は、別途参加条件として個別面談や課題を設定する場合があります。

また、各種手続きにおいて確認不足や怠慢で著しい不備や遅延が続く場合や、事務局からの重要な連絡に応じただけでない場合には、所定の手順に沿って取消料を負担いただいたうえで派遣資格を取り消します。

※ 「17. 合格後の手続準備について」を必ず確認してください。

4) 他の参加者と協力して団体行動ができること

本要項に記載のプログラムは団体派遣であり、往復路の航空移動や現地での活動時など、必要な場面で、リーダー、現地担当者、教員などの指示に従い、他の参加者と協力して団体行動をとることが求められます。

※ 東京（羽田・成田）等で乗継があるコースを含めて、途中参加・途中離団はできません。

5) 応募するプログラム・コースについて必要な情報を確認すること

応募コースの留学期間中に、クラブやサークル、就職活動、私的な用事等が重なっていないことを前提とし、本要項や、海外留学プログラムホームページ等により、検討コースの内容・情報を十分に確認してください。渡航先のビザ取得や指定された予防接種が必要なコースは、手続きやリスクを承諾したうえで応募してください。

※ 日本国籍を持たない外国籍学生は、「**9. 外国籍応募者への留意点**」を必ず確認して、応募してください。

※ 1 セメスター留学については、自身の履修計画・卒業への影響がないか、事前に学部事務室等で相談してください。（「**13. 学籍と履修について**」に掲載の ◆ 学び支援サイトを参照）

※ 「ホームステイ」滞在のコースは、「14. ホームステイコース応募の承諾事項」を承諾して応募してください。

3. 応募から合格までのスケジュール

【一次募集】 応募期間	10/ 7 (水) 10:00～ 10/13 (火) 17:00 締切 ▶「5. 応募方法と留意事項」を参照。
【一次募集】 抽選 抽選結果 発表	10/14 (水) 17:00 STUDENT PORTAL にて配信 ▶「6. 抽選結果・合格発表」を参照。
【一次募集】 抽選 申込金 納入期限	10/19 (月) 15:00 までに振込納入 ▶「11. 参加費用について」を参照。※ 申込金納入により合格権利が発生します。
【一次募集】 合格者 発表	10/28 (水) 17:00 STUDENT PORTAL にて配信 ▶「6. 抽選結果・合格発表」を参照。
【一次募集】 選考 申込金 納入期限	11/ 2 (月) 15:00 までに振込納入 ▶「11. 参加費用について」を参照。※ 申込金納入により合格が決定します。

※ 以下、二次募集については、一次募集合格者決定後に募集コースを発表します。一次募集の応募状況により、必ずしも二次募集が行われるとは限りません。 留学を検討される方は、可能な限り一次募集で応募してください。
(1 セメスター留学 UC デービスのコースは、ビザ取得スケジュールの関係で、二次募集を行いません。)

【二次募集】 応募期間	10/28 (水) 10:00～ 11/ 2 (月) 13:00 締切
【二次募集】 抽選 抽選結果発表	11/ 4 (水) 17:00 STUDENT PORTAL にて配信
【二次募集】 抽選 申込金 納入期限	11/ 6 (金) 15:00 までに振込納入
【二次募集】 合格者発表	11/11 (水) 17:00 STUDENT PORTAL にて配信
【二次募集】 選考 申込金納入期限	11/13 (金) 15:00 までに振込納入

予防接種の為に 「母子手帳」関連手続 ※ 該当コースのみ	※「イリノイカレッジ」 の参加には、指定の予防接種が必要になります。 保健センターで予防接種のサポートを行うため、応募時から 「母子手帳」 を手元に準備して、抽選結果発表後、速やかに以下の手続を行ってください。 ① 所属キャンパスの保健センターへ初診の予約 ② 過去の予防接種履歴に関して Forms 回答 (母子手帳データ提出) (Forms、保健センター予約の URL は、抽選結果発表時にお知らせします。) 上記手続の後、計画的に予防接種を受け、完了後に証明書を提出していただきます。 指定期間を過ぎると、各自で一般のトラベルクリニックにて対応することになり、ワクチン接種が出発に間に合わない場合プログラムに参加できない可能性があります。 ※ 二次募集合格者は抽選結果後、すぐに手続が必要になりますのでご注意ください。
①保健センター予約	【一次募集合格者：手続き期間】10/14 (水) ～ 10/23 (金)
②Forms 回答	【二次募集合格者：手続き期間】11/ 4 (水) ～ 11/ 6 (金)
「パスポート」 データ必要 ※ 該当コースのみ	※「北京大学」「ワシントン大学」「UCデービス」 参加者は、 11/ 4 (水) までにパスポートデータが必要になります。 未取得の方は応募時に必ずパスポート取得申請を済ませてください。 ▶ 詳細は合格後 moodle+R にて案内、及び提出。査証申請、協定校就学手続に必要です。

4. 合格から出発までのスケジュール

- ・以下掲載以外にも、手続きやガイダンスが発生するコースがあります。（合格後すぐ手続開始のコースもあります。）
- ・ガイダンスや手続きについて、日時・締切や必要な情報は事前に moodle+R のコースニュースで配信されます。
- ・自身に関連のあるスケジュールはしっかり管理し、忘れないように対応してください。

合格者 ガイダンス	11/14（土）終日 衣笠キャンパスにて対面実施 （コース別参加者顔合わせ） ▶ 本ガイダンスの欠席し、他参加者とのコミュニケーションが取れないことにより、手続きに不備等が生じる場合があります。 <u>ガイダンス出席は参加必須条件のため、体調を整えて必ず出席してください。時間等の詳細は合格発表時に案内します。</u> ※ 学内公式行事や体調不良等で欠席の方は、別途日程を指定して実施します。
保健センター ガイダンス ① ※ 渡航方面別	※ アジア方面（カテゴリーNo. A1～A3、B1～3、B7） 11/16（月）16:40～17:30 オンライン実施 ▶ 出席必須。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。
保健センター ガイダンス ② ※ 渡航方面別	※ 欧米・欧州・オセアニア・その他地域（上記以外） 11/19（木）16:40～17:30 オンライン実施 ▶ 出席必須。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。
学内手続必要書類 提出期限	11/25（水）15:00 まで オンライン提出（パスポートデータ等） ▶ 期限厳守。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。 ※ 「北京大学」「ワシントン大学」「UC デービス」のパスポートデータは 11/4 提出
危機管理 ガイダンス	11/25（水）18:30～19:40 オンライン実施 ▶ 全員出席必須。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。
ビザガイダンス ※ 該当コースのみ	※ 1 セメスター「ワシントン大学」「UC デービス」コース参加者は、 12/ 4（金）18:30～19:40 各所属キャンパスにて対面実施 ▶ 該当コース参加者は出席必須。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。
事前講義 ※ 該当コースのみ	※ Global Fieldwork Project 3 コース（AM 実施） ※ Advanced Global Fieldwork Project チェンマイ大（PM 実施） 12/12（土）OIC にて対面実施 ▶ 該当コース参加者は出席必須。詳細は合格者ガイダンスにて案内します。 （留学から帰国後、事後講義も実施）
渡航前 ガイダンス	12/20（日）終日 衣笠キャンパスにて対面実施 ▶ 渡航前の最終ガイダンスで、当日の集合案内、持ち物やコース別の諸注意等があります。欠席すると十分な情報が得られないまま出発することになりかねません。ガイダンス出席は参加条件です。時間等の詳細は moodle+R にて案内します。 ※ 体調不良を含め欠席の方は、別途個別面談を実施する場合があります。
留学費用残額 納入期限	2027/ 1/ 7（木）15:00 まで ▶ 最終金額等 詳細は 12/18（金）頃の案内を予定しています。

5. 応募方法と留意事項

1) 応募期間

【一次募集】 10/ 7 (水) 10:00～ 10/13 (火) 17:00 締切

- ▶ 応募期間（時間）内のみ応募フォームにアクセスできます。
- ▶ 受付最終日はアクセス集中で繋がりにくくなる可能性があります。ネットワーク環境の不具合等、いかなる理由であっても、応募期間終了後の受付はいたしません。余裕をもって早めに応募してください。
- ※ 【二次募集】 応募期間は「3. 応募から合格までのスケジュール」を参照。

2) 併願応募について

**「A-1～8」「B-1～7」「C-1～2」のカテゴリー内で第3志望まで併願応募が可能です。
（「AとB」「BとC」「AとC」など、カテゴリーをまたいだ併願はできません。）**

- ▶ 第2～3志望で合格した場合も、自己都合による辞退は認められません。よく検討のうえ応募してください。
- ▶ Aカテゴリーでは「併願の第1志望」と「専願応募」は同列で抽選を行いますので有利・不利はありません。

3) 応募方法（応募フォームは 立命館大学海外留学プログラム HP に掲載）

◆ 応募フォーム（募集要項）掲載ホームページ URL : <https://x.gd/sDiZ2>

※ パスポートを持っている学生は、記載されている「英文氏名」の入力が必要です。

※ **選考** コース No. B-1～7・C-1～2 は、応募書類の提出が必要です。

- ▶ **A-1～8** は 応募に際して提出書類はありません。併願を含め応募コースを明確にして応募してください。
- ▶ **B・Cのコース** は「7. 選考プログラムについて」を参照して応募書類を作成し、指定されたファイル名をつけて、パソコンに保存してから応募してください。（応募フォーム内の指定箇所に、PDF でアップロードして提出）
- ▶ 応募フォームには学内アカウントでアクセスしてください。
- ▶ 応募フォームの送信は1回限りで、取り消し・修正はできません。
- ▶ 必要事項を入力し、入力内容・確認事項・提出書類を確認のうえ、送信ボタンを押して応募完了してください。
- ※ 送信時「☐ 自分の回答についての確認メールを受け取る」にチェックすると確認メールが受け取れます。
- ▶ 有効なパスポートを持っていない学生は必ず p.37「17. 合格後の手続準備について」を確認して、準備を進めておいてください。また、応募の際に、発給申請する際の正確な「英文氏名」の入力が必要です。応募前に、以下のパスポート発給申請の為の情報を参考にして、自身の「英字氏名」綴りをご確認ください。

【参考】ヘボン式ローマ字綴方表（たびレジ） : <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/passport/hebon.html>

- ▶ 応募にあたっては、パソコンの利用を推奨します。

※ mac の場合、ブラウザは Chrome を利用してください。推奨環境以外での端末・OS・ブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーになる場合があります。



推奨環境 : <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=365458>

6. 抽選結果・合格発表

1) 抽選結果発表（及び 申込金納入の案内）

※ **抽選** No. A-1～8 のみ

【一次募集】 **抽選** 10/14（水）17:00 STUDENT PORTAL にて配信

- ▶ 【抽選】 No. A-1～8 のコースは、応募人数が定員を上回った場合、抽選にて合格候補者を選出します。選ばれた方は、抽選結果発表内の指示に従って申込金を納入することで、正式に合格が決定します。
- ※ 指定された期限までに申込金を納入しない場合は、合格の権利を失いますのでご注意ください。
- ※ 【二次募集】 抽選結果発表の日程は、「3. 応募から合格までのスケジュール」に掲載しています。

2) 合格発表（及び 合格者ガイダンスの詳細案内）

※ **抽選** **選考** 全コース対象

【一次募集】 10/28（水）17:00 STUDENT PORTAL にて配信

- ▶ **選考** No. B-1～7、C-1～2 のコースは、応募書類にて選考の上、合格者を決定します。
- ※ **抽選** **選考** 共に、出席必須の合格者ガイダンスについて案内がありますので必ずご確認ください。
- ※ 【二次募集】 合格発表は、「3. 応募から合格までのスケジュール」に掲載しています。

3) 抽選結果／合格 各発表の確認方法

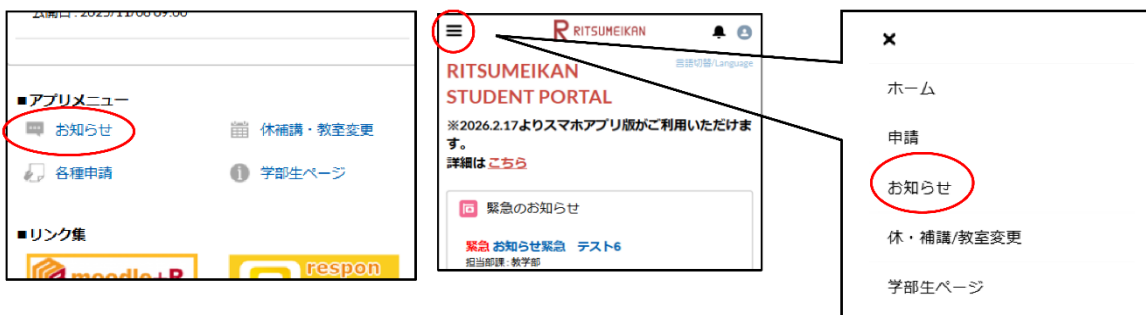
STUDENT PORTAL のお知らせ機能のタブ「DM（個人宛のお知らせ・ダイレクトメッセージ）」より
件名：【抽選結果発表】または【合格発表】2026 年度 春期 短期・1 セメスター留学プログラム にて確認
【STUDENT PORTAL お知らせ機能ガイド】 <https://www.ritsumeai.ac.jp/rsp/assets/file/information-jp.pdf>

【PC】



STUDENT PORTAL ログイン後に、
アプリメニューにある「お知らせ」を
クリック（タップ）して一覧を表示させ、
「DM」のタブから確認してください。

【スマホアプリ】



お知らせ一覧画面が表示されます。届いたお知らせはタブごとに整理されて表示されます。

【PC】



【スマホアプリ】



7. 選考プログラムについて (1/2)

※

選考

B-1~7、C-1~2 のみ

選考プログラム (カテゴリ No. B-1~7、C-1~2) の応募には、以下の応募書類が必要になります。

1) 応募書類 a : 応募レポート<B-1~7、C-1~2 応募者全員必須>

- ▶ 以下の**指定様式**を使用して、設問に基づき、併願の場合は**応募コースごとに、最大 A4×2 枚までに**収まるよう作成してください。(所属学部・氏名・応募コースを忘れずに入力してください。)

【設問 1】「なぜこのプログラムに参加しようと思いましたか？」(日本語で作成)

【設問 2】「留学までの学習計画や、帰国後、留学経験をどう生かしていくか」を記入(日本語で作成)

【設問 3】応募コースの研修言語を使い、自身の語学レベルに応じて「自己紹介や留学への意気込み」を記入

※ 設問 3 は、自身のアピールポイント、興味のあることなど、語学レベルにあわせて記入してください。

初修語セミナー(英語以外)の研修言語で学習歴が浅い学生は、自身のレベルに応じた 2-3 行の記入でも可。

- ▶ ファイル名 : 「a (志望順位) _ (自身の学生証番号 11 桁)」

※ 例: 学生証番号が 12345678910 で、第 2 志望コースのレポート → 「a2_12345678910」

- ▶ 応募レポート指定様式 ダウンロード URL :

https://global.support.ritsumei.ac.jp/hc/article_attachments/55843737280147

※ 所属学部・氏名・応募コースは、該当箇所(ヘッダー部分)をダブルクリックして編集できます。

2) 応募書類 b : 語学力を証明する書類<コース No. B-1~7 は任意、C-1~2 は必須>

- ▶ 1 セメスター留学「ワシントン大学」「UC デービス」は、語学要件の証明書類を**必ず提出**してください。

語学要件 (ワシントン大学・UC デービスの応募には、以下記載以上のスコアが必要)

◆ TOEFL ITP®テスト : 450 点 ◆ TOEFL iBT®テスト* : 3.0 (旧スコアスケール 45 点)

◆ TOEIC® L&R/IP テスト : 500 点 ◆ IELTS : 4.5

◆ VELC or CASEC : (TOEIC® L&R 目安スコアにて) 500 点相当

* 上記は、オンラインで受験されたスコア、インターネットで公開されるスコアの印刷でも可

- ※ その他のコース (B-1~7) は、「b 語学力を証明する書類」は、応募者の**任意による提出**です。
(目安として語学レベルを掲載しているコースについても、必ずしも提出いただく必要はありません。)

- ▶ 証明書は全体(氏名、スコア、受験日等)が、明確に判別できるものを提出してください。

期限がある証明書・スコアの場合は、「期限内」のものを提出してください。

文字が不鮮明な場合などは、提出書類として認められない可能性があります。

また、語学力を証明する書類を提出する場合、応募フォームへスコアの入力が必要です。

- ▶ ファイル名 : 「b_ (自身の学生証番号 11 桁)」

- ▶ 応募コースの研修言語「以外」の語学スコアは、選考時の参考にはしませんので、提出しないでください。

- ▶ スコアが複数種類ある場合、語学要件を満たしているスコア、または最良のスコア 1 種類のみ提出してください。

- ▶ TOEFL iBT®テストは、Test Date スコアのみを採用します。(My Best TM スコアは採用しません)

- ▶ CASEC または VELC のスコアを提出する場合、TOEIC®テスト予測スコアが記載された証明書類を提出してください。

- ▶ 「新入生の英語クラス分けテスト」や「学内英語団体受験」で取得したスコアも応募に使用できます。

証明書が手元にない場合は、以下 URL で案内の指定フォームから「**テストスコア照会申請(無料)**」し、「RITSUMEIKAN STUDENT PORTAL」にて通知されたスコアを PDF 変換したものを提出してください。

【スコアレポート照会・再発行について】 <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=566983>

7. 選考プログラムについて (2/2)

※

選考

B-1~7、C-1~2 のみ

3) 応募書類のファイル形式について

- ▶ 応募書類は、原則 PDF ファイルで応募フォームよりアップロードしてください。
PDF は印刷ページをデータで保存するファイル形式で、使用環境にかかわらず、誰もが同じ状態で確認できる、いわば「印刷文化を継承する電子的な紙」です。万一、自身の PC に専用ソフトがインストールされていない場合は、Adobe 社の無料ソフト「Adobe Reader」をダウンロードして使用してください。

Adobe 社ダウンロードサイト : <https://get.adobe.com/jp/reader/>

- ▶ Word 等のレポートを PDF 変換するには、一般的に印刷画面からプリンターで PDF 変換を選択します。

- ▶ 語学力を証明する紙の書類を PDF に変換する場合は、以下の方法があります。

① 各キャンパスに設置されているスキャナーを利用してデータ保存

スキャナーの利用について : <https://it.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja/articles/4402972352921>

【設置場所】 ◆衣笠 : 立命館大学図書館・ぴあら ◆OIC : ICT-Lab.PC スペース

◆BKC : マルチメディアルーム (MMR) ・メディアセンター・プリズムハウス

② コンビニエンスストアのコピー複合機 (マルチコピー機) を利用してデータ保存

使用方法是コンビニによって異なりますが、基本的には USB メモリーを準備して、スキャンしたデータを USB メモリーに保存します。(料金は 1 枚 30 円程度)

4) 選考基準について

- ▶ 選考プログラムは、応募者数が定員未満の場合でも選考により不合格になることがあります。
- ▶ 選考にあたっては、応募書類 (応募レポート) の内容から留学に対する姿勢や学習意欲を評価するとともに、学内成績 (累積 GPA) や語学力などを総合的に勘案し、本学より正規に派遣される留学生としての適性を多角的に判断したうえで、可否を決定します。
- ▶ 応募書類の提出にあたっては、内容に不備がないよう十分にご確認ください。特にレポートについては、文量・内容ともに選考の重要な指標となります。数行程度の記述に留めることなく、自身の考えを深く掘り下げ、説得力のある充実した内容で作成してください。

8. 応募資格

以下のすべての条件を満たす方が対象です。

- 1) 本学の正規生で、**留学募集期間・実施期間・単位授与されるセメスター**において「**休学中**」に該当しないこと。
- 2) 留学期間中に、**学籍が除籍（例：学費未納による除籍）または卒業となる予定がない**こと。
- 3) 応募するコースと**同時参加が認められていない他の留学プログラムへの参加実績・予定がない**こと。
 ※ 過年度に短期または 1 セメスターに参加した方は、同一コース（同じ協定校）へ再度の参加はできません。
 ※ 実施期間が重複していない場合も、本募集要項掲載内で 2 つ以上のコースへ同時参加することはできません。
 ※ 実施期間が重複しない学部・海外留学プログラムとの同時参加については、学部事務室に確認してください。
 全学募集の留学プログラムに関しては、原則、同時参加に問題はありません。ただし、応募や可否発表が同じ時期になる学部・海外留学と併願応募（両方合格した場合、一方を辞退すること）は認められません。
- 4) 下に掲載の確認表で、応募対象プログラム・所属の学部（学科）欄に、応募時点の回生表記があること。

▶ **所属学部・回生 応募可否確認表**（コース名を省略しているため、表紙掲載の No.と照合してください。）

対象プログラム コース名(略) 所属学部 ・学科（入学月）		Global Fieldwork Project	異文化理解 セミナー	Advanced GFP	現地で学ぶ 初修語セナ	海外スタディ	1 セメスター留学	
		A-1～A-3 3 コース	A-4～A-8 5 コース	B-1 チエンマイ大	B-2～B-6 5 コース	B-7 マレーシア工科	C-1 ワシントン大	C-2 UCデービス
法学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
産業社会学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
国際関係 学部	4月入学	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
	9月入学	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～3回生
文学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
映像学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
経済学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
理工学部	各学科	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
	環境都市工学	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
情報理工学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
生命科学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
薬学部	薬学科	1～5回生	1～5回生	1～5回生	1～5回生	1～5回生	1～4回生	1～5回生
	創薬科学	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
スポーツ健康科学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
食マネジメント学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
経営学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
政策科 学部	4月入学	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
	9月入学	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～4回生	1～3回生
総合心理学部		1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生	1～3回生
デザイン・アート学部		1回生	1回生	1回生	1回生	1回生	1回生	1回生
グローバル教養学部		対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外

※ グローバル教養学部生、及び大学院生は、本要項掲載の留学プログラムには参加できません。

※ 休学や進級保留等が発生した学生は、応募前に所属学部事務室に相談・確認してください。

9. 外国籍応募者への留意点 “Notes for International Applicants”

▶ Japanese Language Proficiency Requirement

All program guidance and administrative procedures are conducted only in Japanese. Applicants must have sufficient Japanese proficiency to understand these instructions and the application guidelines. Students admitted on an English basis should note that a JLPT N2 level or equivalent is generally required to participate.

- ▶ 本要項掲載の留学プログラムは、ガイダンスや各種手続き説明がすべて日本語で行われるため、それらや、本募集要項を十分に理解・対応する日本語の語学力が必要です。特に、英語基準で本学に留学している学生は、目安として、日本語能力試験（JLPT）で「**N2**」レベルの日本語能力が必要となりますのでご注意ください。
- ▶ 国費外国人留学生制度の対象者は、国際教育センターの国費留学担当者へ応募可否を確認してください。
- ▶ 奨学金を受給している留学生は、奨学金の支給団体に応募可否を確認してください。
- ▶ 自身の第一言語が、「研修言語」に設定されているコースへは応募できません。
（「第一言語」とは、生まれてから最初に接して身につけた言語や、一番得意な言語を指します。）
- ▶ 自身の第一言語が、研修言語と異なる場合も、協定校所在国と同じ国籍の学生は、受け入れ側の規定により参加できない場合があります。場合によって協定校に参加可否を確認しますので、応募を検討しているコースの渡航国と同じ国籍を持っている学生は、事前に留学サポートデスクまでご相談ください。
（本募集要項掲載「B2 北京大学」コースは、北京大学側の規定により、中国籍学生は参加できません）
- ▶ 現在、米国へ Visa Waiver Program 対象国以外の国籍者が、短期留学で渡航するために必要な、B1/B2 ビザに関して、日本国内の米国大使館、領事館で面接枠の設定が無いため新規取得はできません。そのため「**イリノイカレッジ**」のコースへ応募する外国籍の学生は、原則、**既に B1/B2 ビザを持っているか、以下の Visa Waiver Program 対象国の国籍がある学生に限り**ます。
<https://travel.state.gov/content/travel/en/us-visas/tourism-visit/visa-waiver-program.html>
- ▶ 応募者が日本国籍を持っておらず、応募コース（国）へ渡航するためにビザの取得が必要な場合は、ビザ取得に係る費用の差額において、留学費用が他の日本国籍学生とは異なる場合があります。また、各国のビザ発給要件やビザ代行申請会社の取扱い基準により、渡航国と応募者国籍の組み合わせにおいて代行申請会社のサポート対象外となる場合は、原則すべて自己責任において、個人で申請を行う必要があります。

【個人で申請を行う場合の大学によるサポートについて】

査証申請に係る留学先（協定校）から発行される入学許可書など、ビザ申請に不可欠な必要書類の取り寄せや、学内での書類発行手続きについては、大学が責任を持ってサポートを行います。

【特に留意すべきリスク】

ビザの発給はすべて渡航国側の手続・判断となります。特に外国籍の学生に対する審査は、渡航国によって非常に厳格に行われる場合があります。出発日は考慮されず結果が出るまで数ヶ月以上を要するケースや、発給が拒否されるリスクが、日本国籍の学生と比べて大幅に高くなります。過年度、出発直前にビザ申請が却下されたために、取消料を自身で負担して辞退となったケースも発生しています。

ビザ審査結果や発給時期、それに伴う不利益について、大学は一切の責任を負うことができません。

渡航国の査証発給要件や取得難易度を確認し、以下のリスクを十分に理解した上でのみ、応募してください。

ビザの申請却下、または出発までに発給が間に合わない場合の参加取消リスク：

本募集要項掲載の「短期留学」については、単位授与の正規派遣留学であることから、ビザの不発給はもとより、出発までに発給が間に合わない場合においても、留学に遅れて参加することはできず、参加取消となります。その際、各関係機関で発生する取消料（実費）は自己負担となります。

出発遅延・追加費用のリスク：「1 セメスター留学」においては、出発までに発給が間に合わない場合、発給され次第、遅れて参加になるケースがありますが、その際発生する航空券の変更等に伴う高額な追加費用はすべて自己負担となります。

10. プログラム・コース別情報（計 17 コース）

【応募コース検討の前に】プログラムの特性と主体的参加について

立命館大学では、一人でも多くの学生に海外での学びを通じた成長の機会を提供するため、世界各地の協定校と連携し、次ページ以降に掲載する多彩な留学プログラムを展開しています。

1. 「正規派遣」としての主体的な参加

本プログラムは、営利目的の留学紹介サービスやパッケージツアーとは異なり、本学の「正規派遣学生」として参加する教育プログラムです。本プログラムの主体はあくまで現地協定校（受入大学）にあり、大学事務局は航空券の手配や就学手続き、単位授与といった制度面でのサポートを担います。応募・参加にあたっては、大学に「連れて行ってもらう」受動的な姿勢ではなく、自ら現地の環境に適応し、学びを勝ち取るという強い主体性と当事者意識が求められます。

2. 募集内容の変更に関する重要事項

本プログラムは現地協定校が主催・運営するため、プログラムの詳細は受入大学の判断や現地の社会情勢、運営状況に委ねられます。そのため、滞在先について参加者間で差異が生じたり、募集要項の掲載後であっても、カリキュラム、スケジュール、滞在先、実施条件などの内容が予告なく変更されたりする場合があります。

これらは「生きた海外の現場」に参加するからこそ起こり得る事態です。応募にあたっては、こうした変更の可能性をあらかじめ理解し、どのような状況下でも前向きに学びを継続できる柔軟な構えを持って挑戦してください。また、改善が必要だと感じた部分については、現地にて協定校担当者へ相談してください。

- ▶ p.12～28 のコース別情報には、ページ番号の掲載がありません。ページ右上に、表紙の「掲載コース一覧」カテゴリNo.（A1～8、B-1～7、C-1～2）が掲載されています。
- ▶ 参加費用（目安）は、「11. 参加費用について」「12. 奨学金と経済的支援」と併せて確認してください。
- ▶ コース別情報掲載の「形態」について
 - ◆ カスタム：

協定校が、立命館大学のために企画・提供するプログラムで、原則、授業は本学の学生のみで受講します。参加人数によっては、全員が一つのクラスで授業を受ける可能性があります。（コースによって、一部授業や課外活動に国内外の他大学生と共に参加する場合があります。）
 - ◆ オープン：

協定校が世界各国の留学生向けに広く一般募集しているプログラムに、立命館大学の派遣学生として参加します。原則として、日本国内外の留学生とともに語学レベルに応じたクラス編成が行われます。ただし、催行時期や国別の留学生数、語学レベル、または協定校の方針によっては「日本人のみ」または「立命館大学生のみ」のクラスになる場合があります。
 - ◆ ミックス：

留学期間のうち、カスタムのプログラムに参加する期間と、オープンプログラムに参加する期間が混在します。立命館大学独自で設定している形態です。

ホーチミン市人文社会科学大学

ベトナム

ホーチミン

参加費用
(目安)

16～22 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金

約5万4千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月28日(日)～3月6日(土) 7日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 引率、バディ制度がありサポート充実!
- ▶ 短期間で現地交流型の留学ができる!
- ▶ 戦争遺跡クチトンネルを訪問できる!

都市・大学紹介

都市 ホーチミン市は1975年までは「サイゴン」と呼ばれ、ベトナム戦争時は南ベトナム共和国の首都として、戦争終結の舞台となった場所。古くからベトナム最大の商業都市、経済の中心地として栄えた。建造物はフランス統治の影響が残る街並みと、経済成長で建てられた高層ビル群が同居し、めざましく発展するアジアを感じることができる都市。

大学 ベトナムにはハノイとホーチミンに政府直轄の2大国家大学があり、ホーチミン市人文社会科学大学は、ホーチミン市国家大学の構成大学の一つで、ベトナム南部の最高峰の文系総合大学。日本学部があり、日本語教育にも力を入れている。

スケジュール

出発 【航空会社】ベトナム航空
午前 関西空港発 午後 ホーチミン着

研修

- ・オリエンテーション
- ・講義
- ・バディと顔合わせ、調査活動の相談
- ・フィールドトリップ(予定)
(Cu Chi Tunnel)
- ・フィールドワーク(3日間程度)
- ・プレゼンテーション(グループ発表)
- ・Farewellパーティー

帰国 深夜 ホーチミン発 早朝 関西空港着

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	10～30名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホテル(1～3名/1室基準)		
食事	朝食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費(朝食を除く)、フィールドワークにかかる費用が必要です。		

【引率教員】石川 涼子(国際教育推進機構) ※担当教員が同行して学習サポートを行います。

【事前・事後講義】

出発前と帰国後に参加者全員対象の講義があります。

成績評価に関わりますので、どちらも出席必須です。

・事前講義：12月12日(土)午前 OICにて実施

・事後講義：2027年3月10日(水)午前 OICにて実施

※時間・教室等の詳細は決定後、参加者にお知らせします。

プログラムの特徴

- Global Fieldwork Project は、「体験・体感型海外留学プログラム」です。参加者でグループを編成し、グループごとに設定したテーマに沿って調査活動を行います。プログラム最終日のプレゼンテーション、および帰国後の事後講義でグループの成果発表を行います。
- 同年代のバディと交流を深めながら、参加者と協力して調査活動を進めることは、個人の旅行では味わうことのできない体験です。現地の講義ではベトナムの社会や経済について理解を深め、フィールドトリップでは、ベトナム戦争の史跡・クチトンネルを訪問する予定です。
- 過年度フィールドワークテーマ
 - ・ Changes in Vietnamese Food Culture
 - ・ Clothing Culture in Vietnam
 - ・ Health Awareness of Vietnamese Students

報告書/参考資料



参加費用
(目安)

22～26 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金
 約5万5千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月21日(日)～2月27日(土) 7日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 引率、バディ制度がありサポート充実!
- ▶ 短期間で現地交流型の留学ができる!
- ▶ 世界遺産「アンコールワット」に行ける!

都市・大学紹介

都市	首都プノンペンは、行政・文化・経済の中心地であり、市内王宮にはカンボジア国王一家が住み、メコン・トンレサップ・バサック川の合流点に位置し、フランス植民地時代の趣も残す自然と調和した美しい都市
大学	平和な新しいカンボジア社会を構築することを目標に、英語とクメール語を用いたバイリンガル教育を実践している大型私立大学

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	10～30名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホテル(1～3名/1室基準)		
食事	朝食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：商用ビザ取得 ※代行申請/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費(朝食を除く)、フィールドワークにかかる費用が必要です。		

【引率教員】庄子 萌(国際教育推進機構) ※担当教員が同行して学習サポートを行います。

【事前・事後講義】

出発前と帰国後に参加者全員対象の講義があります。

成績評価に関わりますので、どちらも出席必須です。

・事前講義：12月12日(土)午前 OICにて実施

・事後講義：2027年3月10日(水)午前 OICにて実施

※時間・教室等の詳細は決定後、参加者にお知らせします。

プログラムの特徴

- Global Fieldwork Project は、「体験・体感型海外留学プログラム」です。参加者でグループを編成し、グループごとに設定したテーマに沿って調査活動を行います。プログラム最終日のプレゼンテーション、および帰国後の事後講義でグループの成果発表を行います。
- 同年代のバディと交流を深めながら、参加者と協力して調査活動を進めることは、個人の旅行では味わうことのできない体験です。現地の講義ではカンボジアの社会や文化について理解を深め、フィールドトリップでは、アンコールワット等を訪問する予定です。
- 過年度フィールドワークテーマ
 - ・Comparison of tourism in Japan & Cambodia
 - ・Cashless Payment

報告書/参考資料



スケジュール

出発	【航空会社】ベトナム航空 午前 関西空港発 午後 テチョ空港着(プノンペン)
研修	・オリエンテーション ・講義 ・バディと顔合わせ、調査活動の相談 ・フィールドトリップ(予定/アンコールワット) ・フィールドワーク(3日間程度) ・プレゼンテーション(グループ発表) ・Farewellパーティー
帰国	午後 シェムリアップ空港発 翌日朝 関西空港着

参加費用
(目安)

23～30 万円

本学支援金
約6万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月28日(日)～3月6日(土) 7日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 引率、バディ制度がありサポート充実!
- ▶ 短期間で現地交流型の留学ができる!
- ▶ 企業訪問やフィールドトリップも予定あり!

都市・大学紹介

都市	大学が所在する台北は、台湾の首都で、日本の植民地時代に整備された車線が通り、賑やかなショッピング街や近代的な建物があり、台湾の経済、政治、文化の中心地。屋台で食べ物が売られる活気ある風景や、多くの夜市でも知られている。
大学	淡江大学は、台湾の私立大学の中で最古の歴史を誇る総合大学。国際関係・ビジネス・情報・観光等の様々な学科で全英語課程が実施され、「国際化、情報化、未来化」の「三化」方針を推進している。

スケジュール

出発	【航空会社】エバー航空 午後 関西空港発 午後 台北着
研修	・オリエンテーション ・講義 ・バディと顔合わせ、調査活動の相談 ・フィールドトリップ (Hakka Cultural Park等) ・フィールドワーク (3日間程度) ・プレゼンテーション (グループ発表) ・Farewellパーティー
帰国	午後 台北発 午後 関西空港着

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	10～30名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホテル(1～3名/1室基準)		
食事	朝食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費(朝食を除く)、フィールドワークにかかる費用が必要です。		

【引率教員】駒見 一善(国際教育推進機構) ※担当教員が同行して学習サポートを行います。

【事前・事後講義】

出発前と帰国後に参加者全員対象の講義があります。

成績評価に関わりますので、どちらも出席必須です。

・事前講義：12月12日(土)午前 OICにて実施

・事後講義：2027年3月10日(水)午前 OICにて実施

※時間・教室等の詳細は決定後、参加者にお知らせします。

プログラムの特徴

- Global Fieldwork Project は、「体験・体感型海外留学プログラム」です。参加者でグループを編成し、グループごとに設定したテーマに沿って調査活動を行います。プログラム最終日のプレゼンテーション、および帰国後の事後講義でグループの成果発表を行います。
- 同年代のバディと交流を深めながら、参加者と協力して調査活動を進めることは、個人の旅行では味わうことのできない体験です。現地の講義では台湾の社会や文化について理解を深め、フィールドトリップでは、Hakka Cultural Park や博物館を訪問する予定です。
- 過年度フィールドワークテーマ
 - ・ Plastic problem in night market
 - ・ Taiwan's tourism problem
 - ・ Exploring Traditional Food Culture and Night Market in Taiwan

報告書/参考資料



参加費用
(目安)

70～79 万円

本学支援金
約13万6千円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年1月31日(日)～3月2日(火) 31日間

【出発】伊丹空港

おすすめPOINT

- ▶ 豊富な現地交流で英語力UP!
- ▶ ホームステイと寮どちらも体験できる!
- ▶ フィールドトリップやイベント多数あり!

都市・大学紹介

都市	イリノイ州ジャクソンビルは、イリノイ州最大の都市シカゴから3時間ほど離れた場所に位置する。人も温かく、落ち着いた環境。 中心部の広場は、映画「Back to the future」を思い起こさせると言われている。
大学	1829年創立。特にリベラルアーツ(一般教養)を中心とした教育内容は全米で高く評価されている。イリノイカレッジは30年以上にわたり、立命館大学との相互交流を盛んに行っている。

スケジュール

出発	イリノイ州ジャクソンビルへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】全日空・ユナイテッド航空
滞在中	・英語講義 ・ゲストスピーカー講義 ・正課授業見学 ・現地学生との交流会(食事会・アクティビティなど) ・異文化フェスティバル ・フィールドトリップ ・セントルイス日帰り旅行 ・シカゴ旅行(3泊4日)
帰国	日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	12～26名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホームステイ・学生寮(1～2名/1家庭・2～4名/1室) ※P.32「14.ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	朝・昼・夕3食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ESTA(電子渡航認証)※代行申請/パスポート有効期限：出国日まで		
その他	別途、予防接種および検査等の費用が必要 ※詳細は派遣候補者決定後、別途案内します。 イリノイカレッジの規定により、事前に定められた予防接種、結核に関わる検査が必要。 【必要な予防接種】おたふく・麻疹・風疹・Tdap・髄膜炎菌 【必要な検査】結核に関わる検査 ●合格発表までに、母子手帳等これまでの予防接種の記録が分かるものを準備すること。 ●保健センターで予防接種・罹患歴を確認し、接種スケジュールを決定。 ◀(参考)ワクチン接種費用		



プログラムの特徴

- 日本を離れ、異なる文化や社会、歴史の体験を通じてグローバルな視野を育むプログラム。
- アメリカの文化や社会について英語で学び、グループワーク/ディスカッション/プレゼンテーションを通して、実践的な英語力を養います。現地学生が会話や発音の授業に参加し、交流しながら英会話や発音力の向上を図ります。
- フィールドトリップでは、リンカーン博物館、現地小学校や聾学校、盲学校などを訪問し、アメリカの教育や文化について学ぶことができます。
- 多様なアクティビティを通じて、現地の人々や現地学生と交流する機会が豊富です。
- ホームステイと学生寮、両方の生活を体験することが可能です。

報告書/参考資料



短期

異文化理解セミナー
ビクトリア大学

A-5

カナダ

ビクトリア

参加費用
(目安)

62～69 万円

本学支援金
約10万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。



留学期間(日本発着)

2027年2月28日(日)～3月29日(月) 30日間

【出発】伊丹空港

おすすめPOINT

- ▶ コミュニケーションスキルUP!
- ▶ ホームステイで英語力UP!
- ▶ 自然豊かな環境で英語力UP!

都市・大学紹介

都市 ビクトリアは、バンクーバー島の南端に位置し、バンクーバー空港最寄りのフェリー乗り場から約1.5時間でアクセスできる豊かな自然と野生動物に恵まれた街。温暖な気候と落ち着いた街並みが特徴。

大学 1963年設立。国際共同研究ランキング北米トップクラスの大規模総合大学。環境学、先住民研究、海洋科学、工学、法学などの分野で評価されている。

形態	オープン型(他国、日本の他大学生含む)	人数	10～40名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホームステイ(1～4名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	朝・昼・夕3食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：eTA(電子渡航認証) ※代理申請/パスポート有効期限：出国日+1日		
その他	協定校の申込手続き時に「パスポート記載氏名」が必要なため、確認しておくこと。		

プログラムの特徴

- 日本を離れ、異なる文化や社会、歴史の体験を通じてグローバルな視野を育むプログラム。
- ビクトリア大学付属の English Language Center (ELC) にて、カナダの文化や社会、国際的な課題をテーマとした授業で、日常会話やアカデミックな場面で使える英語を学びます。特にスピーキングとリスニング能力の向上に重点を置いています。
- 毎週金曜日に文化体験アクティビティを実施。ビクトリアやカナダの文化を体験しながら、現地の人々や留学生との交流を深めることができます。
- 希望者はバンクーバー旅行や Butchart Gardens、ホッケー観戦などのオプションアクティビティに参加が可能です(別途参加費要)。

スケジュール

出発 ブリティッシュコロンビア州・ビクトリアへ(乗り継ぎあり)

【航空会社】全日空・エアカナダ

滞在中

- ・英語講義
- ・Coffee Social & Afternoon Sports
- ・ワークショップ
- ・ダウンタウンウォーキングツアー
- ・ロイヤルBC博物館ツアー
- ・オプションツアー ※別途費用要(バンクーバー2泊、ホッケー観戦、アフタヌーンティーなど)

帰国 日本へ(乗り継ぎあり)

報告書/参考資料



カナダ

トロント

参加費用
(目安)

74～80 万円

本学支援金
約10万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月7日(日)～3月7日(日) 29日間

【出発】伊丹空港

おすすめPOINT

- ▶ ホームステイで英語力UP!
- ▶ 様々なトピックを通じて英語力UP!
- ▶ 多種多様なアクティビティあり!

都市・大学紹介

都市	トロントは、カナダ最大の都市であり、カナダ経済の商都でもある。超高層ビルが多く立ち並ぶ大都会の中に、広大な公園があり、自然も豊か。 海外から移民を多く受け入れている国際色豊かな都市。
大学	1850年設立。カナダで最も優秀な名門州立総合研究大学。コンピューターサイエンス、心理学、生命科学、薬学などが評価・人気の高い分野。特にコンピューターサイエンス分野は世界トップ10に入る。

スケジュール

出発	カナダ・トロントへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】全日空・エアカナダ
滞在中	・英語講義 ・アクティビティ (博物館・美術館訪問・スケート・クイズ大会・地域イベント参加など) ・オプションツアー (ナイアガラの滝など) ・大学施設を利用した自習
帰国	日本へ(乗り継ぎあり)

形態	オープン型(他国、日本の他大学生含む)	人数	10～40名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	朝・昼・夕3食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：eTA(電子渡航認証)※代行申請/パスポート有効期限：出国時+1日以上		
その他	希望者のみ、別途ツアー参加費用が必要です。 週末のオプションツアー参加希望者は、トロント大学から紹介される地元のツアー会社に直接申し込みをしてください。 ・ナイアガラの滝 ・ケベックシティ ・ブルーマウンテンへのスキー旅行 ・CNタワー ・リブレイ水族館 ※選択できるツアーは変更になることがあります。		

プログラムの特徴

- 日本を離れ、異なる文化や社会、歴史の体験を通じてグローバルな視野を育むプログラム。
- ニュース、エンターテインメント、社会問題、旅行などのテーマに基づき、英語4技能を高め、また、グループプロジェクトや他クラスとのコミュニケーション・アクティビティを通して、スピーキング力とリスニング力を伸ばします。
- 多種多様なアクティビティから好きなものを選択可能です。
- ホームステイで、カナダの文化や習慣、多様性を体験しながら英語力を高めます。

報告書／参考資料



短期

異文化理解セミナー

クイーンズランド工科大学

オーストラリア

ブリスベン



A-7

参加費用
(目安)

53～58 万円

本学支援金
約10万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月12日(金)～3月15日(月) 32日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 英語のプレゼン・ディスカッション力UP!
- ▶ 豊富なアクティビティとフィールドトリップ!
- ▶ ホームステイで英語力UP!

都市・大学紹介

都市 ブリスベンは、オーストラリア第3の都市。亜熱帯気候で一年を通じて温暖で過ごしやすい。川沿いやビーチなどアウトドアを楽しめる一方、美術館や音楽イベントなど芸術や文化も盛ん。留学生も多く集まる教育都市。

大学 1989年設立。産学連携を通じ、実践的な教育を行っている。特にビジネス、建築都市環境、工学、デザインが世界で高く評価されている。留学生も多く、国際的な学習環境が整っている。

スケジュール

出発 クイーンズランド州・ブリスベンへ
【航空会社】ジェットスター航空

滞在中

- ・英語講義
- ・ブリスベンウォーキングツアー
- ・ゴールドコースト小旅行
- ・サンコープスタジアムツアー
- ・大学説明会/学部見学ツアー
- ・学内施設利用
(ジム、劇場、美術館、The Cube)
- ※モートン島オプションツアー
(オプションツアーは別途費用要)

帰国 日本へ

形態	ミックス型(オープン型+カスタム型)	人数	20～43名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホームステイ(2～4名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	朝・昼・夕3食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETA(電子渡航認証) ※各自申請/パスポート有効期限：出国日まで		
その他	別途、ETA申請費用(各自、オンラインで申請手続き：AU\$20)が必要です。 また、オプションツアーに参加の方は、別途費用(47,500円程度)が必要です。 本プログラムの応募時に、オプションツアー申込状況を確認しますので、 あらかじめ、以下のQRコードより「オプションツアー資料」を確認して下さい。 参加の有無を決定したうえで、プログラムへの応募をお願いいたします。		

プログラムの特徴

- 日本を離れ、異なる文化や社会、歴史の体験を通じてグローバルな視野を育むプログラム。
- 前半2週間は、立命館大学独自のプログラムでオーストラリアの歴史、文化、社会について学びながら、ディスカッションスキルとプレゼンテーションスキルを身につけ、後半2週間は、レベル別クラスで他国留学生や日本の他大学の学生と英語4技能を高めます。
- オーストラリアの歴史や自然に触れるゴールドコースト小旅行や芸術に触れるウォーキングツアーなどのフィールドトリップが満載です。
- 週末、世界で3番目に大きい砂の島「モートン島」のオプションツアーに参加すると、広大な砂丘での砂滑りや、野生イルカの餌付けなど、現地ならではのアクティビティが体験できます。
- 大学説明会や学部見学ツアーへの参加や多様な学内施設利用ができます。

報告書/参考資料

オプションツアー資料



▼オプションツアー「野生イルカの餌付け」体験



短期

異文化理解セミナー
ヨーク大学

A-8

イギリス

ヨーク

参加費用
(目安)

77～84 万円

本学支援金

約12万6千円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月7日(日)～3月10日(水) 32日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 異文化理解力とデジタルスキルを身につける!
- ▶ イギリス文化と歴史への理解を深める!
- ▶ ヨーク市内のフィールドトリップも充実!

都市・大学紹介

都市	「ヨークの歴史はイングランドの歴史」といわれるほど長い歴史ある街ヨークは多くの歴史的建造物に囲まれている。マンチェスター空港から車で2時間弱、ロンドンへは電車で約2時間、リーズへは約25分と交通アクセスも良好。
大学	1963年設立。英国でもトップクラスの大学で多くの学生が在籍し、本学の国際関係研究科とは「共同学位プログラム」を実施しており、学術的な交流も盛ん。

スケジュール

出発 イギリス・ヨークへ(乗り継ぎあり)
【航空会社】キャセイパシフィック航空

滞在中

- ・ Welcome Orientation
- ・ 英語講義
- ・ Cultural Research Project
- ・ Culture Shock Video Project
- ・ フィールドトリップ
- ・ 現地クラブ活動・アクティビティ(任意参加)
- ・ 最終発表／修了式

帰国 日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	15～30名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	学生寮(1名/1室)		
食事	なし 各自、寮にて自炊もしくは学食や近隣レストランを利用。		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし(目安あり※その他参考) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETA(電子渡航認証) ※各自申請/パスポート有効期限：出国日まで		
その他	別途、食費とETA申請費用が必要です。		

【語学要件】 語学要件はありませんが、現地での講義を理解するためには、目安として記載レベル以上の語学要件が必要です。参加までに英語力を伸ばすように努めてください。CEFR:B1、IELTS 4～5程度

【学生寮】Premium Campus Accommodation

各部屋にトイレとシャワー完備。Wi-Fiあり。ランドリー、TV付きの共有スペースが使用できる。共有キッチンには、オーブン、電子レンジ、冷蔵庫、調理器具、食器あり。寮から大学まで徒歩圏内。周辺にはスーパーマーケットや図書館などあり。

プログラムの特徴

- 日本を離れ、異なる文化や社会、歴史の体験を通じてグローバルな視野を育むプログラム。
- ヨーク大学にて English Language, British Culture and Intercultural Skills を受講します。イギリスの歴史や文化、生活、異文化環境におけるコミュニケーションスキルを学ぶとともに、様々なプレゼンテーション方法を学び、プレゼンテーションスキルを身につけます。
- カルチャーショックをテーマにしたクリエイティブな動画制作や、ヨーク大学の教員による特別講演を通じて、学んだ知識を実践的に活用します。
- 海洋史とゴシック様式の魅力で知られる Whitby や、Brontë 姉妹の故郷である Haworth への終日ツアーでは、ヨークシャーの雄大な風景の中でさらなるインスピレーションを得ることができます。
- 現地大学のクラブ活動やアクティビティに参加して現地学生と交流する機会もあります。

報告書／参考資料



チェンマイ大学

タイ
チェンマイ参加費用
(目安)

18～24 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金

約12万6千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月13日(土)～2月23日(火) 11日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ テーマとフィールドワークは参加者次第!
- ▶ 短期間で現地交流型の留学ができる!
- ▶ ホームビジット体験あり!

都市紹介

都市 「北方のバラ」と称されるタイ第2の都市。歴史的建造物が多く残る美しい古都で、寺院建築、料理や工芸の分野で「ランナー文化」と呼ばれる独自の文化・伝統が育まれており、現在も工芸が盛んな街として知られている。

大学 1964年にタイ初の地方大学として創設された総合大学で、高原地帯の豊かな自然に囲まれており、日本の大学と積極的な交流関係を結んでいる。

形態 カスタム型(本学単独のプログラム) 人数 10～30名 ※書類選考にて参加者を決定

滞在 ホテル(1～3名/1室基準)

食事 朝食

単位 2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)

要件 語学要件: なし ※ただし、出発時には目安として記載レベル以上の語学要件が必要です。TOEFL ITP®450点、TOEIC®L&R IP 500点 ※学部・回生など応募資格を確認してください。

査証 日本国籍: 不要/パスポート有効期限: 入国時+6カ月以上

その他 別途、食費(朝食を除く)、フィールドワークにかかる費用(交通費等)が必要です。
 【引率教員】羽谷 沙織(国際教育推進機構) ※担当教員が同行して学習サポートを行います。
 【事前・事後講義】
 出発前と帰国後に参加者全員対象の講義があります。
 成績評価に関わりますので、どちらも出席必須です。
 ・事前講義: 12月12日(土)午後 OICにて実施
 ・事後講義: 2027年3月10日(水)午後 OICにて実施
 ※時間・教室等の詳細は決定後、参加者にお知らせします。

プログラムの特徴

- Advanced Global Fieldwork Project は、Global Fieldwork Project の発展型「Project Based Learning」型の留学プログラムです。参加者ごとに SDGsに関連したテーマを設定し、各自で調査活動を行います。プログラム最終日のプレゼンテーション、および帰国後の事後講義で成果発表を行います。事前・事後講義も全て英語で実施されます。
- 同年代のバディと交流を深めながら、調査活動を進めることは、個人の旅行では味わうことのできない体験です。現地の講義ではタイのSDGsに関する取り組みについて学び、フィールドトリップでは、チェンマイツアーや、ホームビジット(現地家庭訪問)も予定しています。また、プレゼンスキル向上のためのワークショップも実施されます。
- 過年度フィールドワークテーマ
 - ・ Food loss
 - ・ Education
 - ・ Welfare Issue
 - ・ Transportation
 - ・ Climate Change

報告書/参考資料



スケジュール

出発 【航空会社】ティエウェイ航空
午前 関西空港発 夜 チェンマイ着

研修 ・オリエンテーション
 ・講義
 ・バディと顔合わせ、調査活動の相談
 ・プレゼンテーションワークショップ
 ・フィールドトリップ(予定)
 (チェンマイツアー、ホームビジット)
 ・フィールドワーク(4日間程度)
 ・成果発表プレゼンテーション
 (ポスターセッション形式)
 ・Farewellパーティー

帰国 夜 チェンマイ発 午前 関西空港着

参加費用
(目安)

25～29 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金

約11万3千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月28日(日)～3月27日(土) 28日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 中国国内最高峰の大学で学べる!
- ▶ 語学だけでなく文化や歴史も学べる!
- ▶ フィールドトリップでは北京市内を散策!

都市・大学紹介

都市	中国の首都。歴史的建造物と近代都市が共存する文化の中心地。
大学	中国初の国立総合大学として創設され、中国国内でトップクラスの教育水準を誇る名門大学。大都市に位置しながら、和園や円明園などの遺跡にも隣接している歴史的なキャンパス環境も魅力。「中国のシリコンバレー」と呼ばれる中関村も隣接。故周恩来氏の母校であり、本学とは1985年から学術交流、1992年からは交換留学を実施している。

スケジュール

出発 中国・北京へ
【航空会社】中国国際航空

滞在中

- ・ 中国語講義
- ・ オリエンテーション
- ・ 大学施設を使っでの自学自習
- ・ フィールドトリップ(北京市内)
- ・ 文化授業
- ・ 修了試験

帰国 日本へ

形態	オープン型(他国と日本の他大学生を含む)	人数	15～24名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	寮(2～3名/1室)	食事	なし
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件: なし(語学カスコアは任意提出) ※入門コースなしのため、学習歴のない方は参加できません。 ※学部・回生など応募資格を確認してください。		

査証 日本国籍: X2 ビザ ※代行申請 ※北京大学の規定により本国国籍の学生は受入ができません。
パスポート有効期限: 入国時+6か月以上

その他 別途、食費・寮費(デポジット含む)・フィールドトリップにかかる費用が必要です。(下記参照)

【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象: 国際関係・文・産業社会・経済学部2年生以上で、中国語コミュニケーションコース履修者のみ)

なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。

申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

【寮費について】

寮のチェックイン時に寮費(4,860円程度/27泊)とデポジット(500円/チェックアウト時原則返金)を支払います。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義を中国語で受講し、中国に対する理解を深めます。
- 午前中は主に「会話実践練習」及び「中国語講義」を受講し、午後には週2日程度、二胡・京剧・太極拳などの文化授業が予定されています。プログラム終盤には、修了試験が実施されます。また、フィールドトリップでは北京市内を見学する予定です。

報告書/参考資料



短期

現地で学ぶ初修語セミナー 高麗大学

B-3

韓国

ソウル



参加費用
(目安)

33～35 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金

約**13万7千円**適用後



留学期間(日本発着)

2027年2月14日(日)～3月13日(土) 28日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 韓国の名門大学で学べる!
- ▶ 韓国の文化や歴史も学べるプログラム!
- ▶ フィールドトリップや文化授業も満載!

都市・大学紹介

都市	韓国の首都で、ソウルは古宮と高層ビルが共存する、歴史と現代が融合した都市。 また、教育機関や研究施設が集まる、学術・技術の拠点。
大学	独立運動や国民運動に重要な役割を果たした多くの指導者や、また財界に多くの人材を輩出する一方、スポーツの名門としても知られる韓国有数の私立大学。

スケジュール

出発 韓国・ソウルへ
【航空会社】チェジュ航空

滞在中

- ・ 朝鮮語講義
- ・ トゥミマッチング
- ・ 大学施設を使っの自学自習
- ・ フィールドトリップ
- ・ 文化授業
- ・ 修了式

帰国 日本へ

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	20～40名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホテル(2～3名/1室)		
食事	なし		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：入国時+3か月以上		
その他	別途、食費が必要です。		

【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象：国際関係・文・産業社会・経済学部・2回生以上で、朝鮮語コミュニケーションコース履修者のみ)
なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義を朝鮮語で受講し、朝鮮語に対する理解を深めます。
- 高麗大学韓国語文化教育センターで朝鮮語や韓国文化を学びます。朝鮮語授業：会話中心の表現授業を軸に、韓国人との自然な会話ができるよう発音教育にも力を入れています。
- 朝鮮語文化授業：(予定)ハングル印章作り、螺鈿(らでん)小物作り、K-POP ダンス等
- フィールドトリップ：(予定)国立中央博物館、ロッテワールド、公演鑑賞
- トゥミという高麗大学生との交流会があります。※トゥミ人数は未定です。

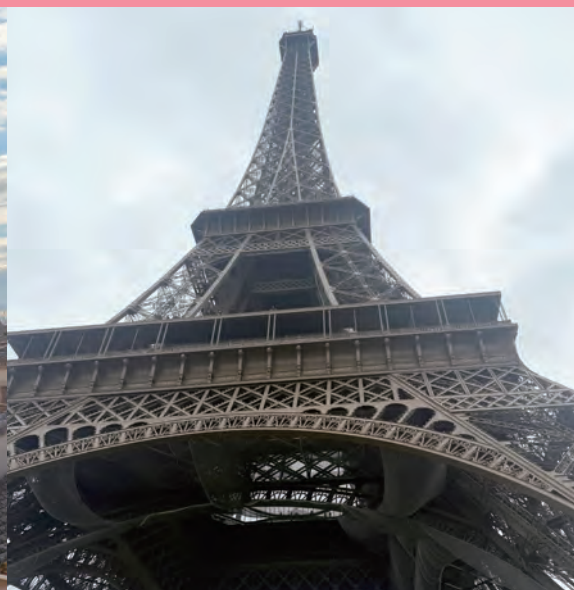
報告書／参考資料



トゥールーズ大学 ジャン・ジョレス校

フランス

トゥールーズ

参加費用
(目安)

65～79 万円

本学支援金
約16万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月27日(土)～3月24日(水) 26日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ホームステイでフランス語力UP!
- ▶ 日本語を学ぶ現地学生との交流あり!
- ▶ 帰国時にパリ泊(2泊3日)あり!

都市・大学紹介

都市	トゥールーズはオート＝ガロンヌ県北部に位置し、独特の建築的外観を持つ建物が多いことから、別名「バラ色の都市」(la ville rose)と呼ばれる。トゥールーズ大学を中心とする学園都市。
大学	1229年設立。特に文学関係に著名な研究者が多く、言語学、外国語教育においてフランス有数の国立大学。1985年に日本語学科が設置され、日本に対する関心も高い。

スケジュール

出発	フランス・トゥールーズへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】エールフランス・オランダ航空
滞在中	・フランス語講義 ・トゥールーズツアー ・大学施設を使っでの自学自習 ・フィールドトリップ (Occitania) ・フランス語学力テスト (TCF) ・Farewellパーティー ・帰国時パリ泊 (2泊3日・フリータイムあり)
帰国	日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	12～36名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	平日2食・週末3食・学食ランチチケット(平日3週間分)	単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETIAS(電子渡航認証)の取得が必要になる可能性有 パスポート有効期限：シェンゲン圏出国+3か月		

その他 【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象：国際関係・文・産業社会・経済学部2年生以上で、フランス語コミュニケーションコース履修者のみ)
なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義をフランス語で受講し、フランスに対する理解を深めます。
- 文法を学びながら会話やリスニング力も高めていきます。フランスでの生活やトゥールーズ近郊のフィールドトリップ等を通じて異文化を体験し学びます。講義・フィールドトリップなどを通して、日本語を学習している現地学生(チューター)とともに行動しますので、現地学生との交流を深める機会が多くあります。フィールドトリップはオクシタニー地方を予定しています。最終週には、TCF(フランス語学力テスト)を受験します。
- プログラム終了後の帰国時にはパリ泊(2泊3日・フリータイムあり)を予定しています。

報告書／参考資料



短期

現地で学ぶ初修語セミナー ライプツィヒ大学

B-5

ドイツ
ライプツィヒ参加費用
(目安)

57～65 万円

本学支援金
 約**15万3千円**適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月14日(日)～3月14日(日) 29日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ドイツで最も古い歴史ある大学で学べる!
- ▶ 日本語を学ぶ現地学生との交流あり!
- ▶ フィールドトリップはベルリン周辺を散策!

都市・大学紹介

都市	文化と商業で発展してきた都市。 バッハ、メンデルスゾーン、シューマンと いった名だたる音楽家のゆかりの地とし て有名。
大学	1409年設立。 ドイツで最も古い大学のひとつで、文豪 ゲーテや哲学者ニーチェ、音楽家ワーグ ナーなど数多くの歴史上の人物を輩出し ている。

スケジュール

出発	ドイツ・ライプツィヒへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】ベトナム航空 フランクフルトより鉄道利用
滞在中	・ドイツ語講義 ・市内ツアー ・大学施設を使っでの自学自習 ・フィールドトリップ(ベルリン) ・プレゼンテーション ・Farewellパーティー
帰国	日本へ (フランクフルトにて1泊・乗り継ぎあり)

形態	オープン型(他国と日本の他大学生を含む)	人数	10～25名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	フラットシェア(2～3名/1室)	食事	なし(共同キッチンにて自炊)
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETIAS(電子渡航認証)の取得が必要になる可能性有 パスポート有効期限：シェンゲン圏出国+3か月		
その他	別途、食費が必要です。		

【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象：国際関係・文・産業社会・経済学部2年生以上で、ドイツ語コミュニケーションコース履修者のみ)

なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義をドイツ語で受講し、ドイツに対する理解を深めます。
- ライプツィヒ大学付属語学教育機関 interDaF の提供するプログラムを受講します。文法を学習しながら会話やリスニング力を高めていきます。フィールドトリップはベルリン訪問を予定しています。

報告書／参考資料



短期

現地で学ぶ初修語セミナー アルカラ大学

B-6

スペイン

アルカラ デ エナレス

参加費用
(目安)

58～71 万円

本学支援金
約15万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年1月30日(土)～3月1日(月) 31日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 世界文化遺産のなかで学べる!
- ▶ ホームステイでスペイン語力UP!
- ▶ フィールドトリップでバルセロナを満喫!

都市・大学紹介

都市	アルカラ・デ・エナレスは、大学と美しい旧市街が特徴のスペインの歴史都市で、ユネスコ世界遺産にも登録されている。
大学	スペイン最古の大学の一つ。1977年にアルカラ大学として再編・統合した。また、1998年に同大学と歴史地区は、ユネスコの世界文化遺産に登録。

スケジュール

出発	スペイン・マドリッドへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】キャセイパシフィック航空
滞在中	・ウェルカムパーティー ・レベルテスト ・スペイン語講義 ・大学施設を使っの自学自習 ・Farewellパーティー ・フィールドトリップ (バルセロナ)
帰国	日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	15～35名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)	食事	朝・昼・夕3食
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETIAS(電子渡航認証)の取得が必要になる可能性有 パスポート有効期限：シェンゲン圏出国+3か月		
その他	別途、フィールドトリップ中の食費(昼食・夕食)が必要です。		

【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象：国際関係・文・産業社会・経済学部2の2回生以上で、スペイン語コミュニケーションコース履修者のみ)
 なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義をスペイン語で受講し、スペインに対する理解を深めます。
- スペイン アルカラ・デ・エナレスにあるアルカラ大学でスペイン語やスペイン文化を学びます。会話・文法・作文の授業を並行して受講します。ホームステイでの生活を通じて、異文化を体験し学びます。学習した内容をホームステイ先で使ってみましょう。
- 2泊3日のバルセロナへのフィールドトリップを予定しています。詳細はガイダンスで案内します。

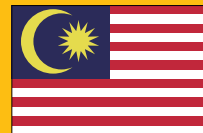
報告書／参考資料



「マレーシアで学ぶアジアの環境と開発」

マレーシア

ジョホールバル

参加費用
(目安)

32～37 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金

約9万4千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月16日(火)～3月5日(金) 18日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ディスカッションやプレゼンで英語力UP!
- ▶ 現地学生バディと授業内外で交流できる!
- ▶ シンガポールへの宿泊旅行あり!

都市・大学紹介

都市	クアラルンプールに続いて2番目に大きい都市で、シンガポールとの国境沿いに位置している。中心部はレストランやモールが立ち並び都会的だが、郊外は自然豊かで穏やかに過ごすことができる。多民族国家のため、多彩な文化が融合しており、異国情緒あふれる建築物や文化を楽しむことができる。
大学	研究開発が盛んなマレーシアで最も古い国立工科大学。アジアトップの名門校。メインキャンパスはジョホールバル郊外のスクダイにある。工学、情報技術、建築、都市計画、経営学など多くの分野で、技術革新とイノベーションを生み出している。日本語教育にも熱心で、日本語が話せる学生も多い。

スケジュール

出発	【航空会社】シンガポール航空 深夜関西空港発 翌日朝シンガポール空港着 現地校の送迎にてマレーシア・ジョホールバルへ
研修	・オリエンテーション・講義 ・フィールドワーク (Malay Cultural Village, Johor Bahru City Tour等) ・グループディスカッション ・宿泊体験 1泊2日 (Kukup Village) ・Farewell Party ・シンガポール観光 (自由行動) 2泊3日
帰国	深夜 シンガポール発 午前 関西空港着

形態	オープン型(他国・日本の他大学生を含む可能性あり)	人数	12～25名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	大学内のアパートメント(2名/1室) ※バス・リビングは1ユニット4名で共同利用		
食事	なし	単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件：なし(目安あり ※その他参考) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費が必要です。		

【語学要件】語学要件はありませんが、現地での英語による講義を受講し理解するためには、目安として記載レベル以上の語学要件が必要になります。

英語力が十分でない方は、参加までに英語力を伸ばすように努めてください。

TOEFL ITP®テスト480点(iBT®テスト 54点)以上/TOEIC®L&Rテスト 530点以上

【事前・事後研修】事前・事後に担当教員による研修が実施されます。成績評価に関わる研修です。必ず出席するよう事前に予定してください。

・事前講義：未定

・事後講義：未定

※時間・教室等の詳細は決定後、moodle+R でお知らせします。

プログラムの特徴

- 海外スタディプログラムは、学内での学びを海外で実践する場として位置付けられており、あらかじめ設定したテーマに基づき学習するプログラムです。本コースは、「アジアの経済・環境・開発」をテーマに、講義・フィールドワークを組み合わせたプログラム構成となります。出発前の事前研修、現地でのプログラム参加、そして帰国後の事後研修という一連の過程により、各プログラムのテーマについての理解を深めます。
- マレーシアとアジア諸国における持続可能な開発の様々な取り組みに焦点を当て、マレーシアの文化・経済・環境についての知識を広げます。現地学生バディや他大学参加者との共修を通じて、情報収集能力、プレゼンテーションスキルを高めます。
- フィールドワークでは、ジョホールバル市内、新行政区、マレー文化村などを訪問し、ククップ漁村での宿泊体験では、カルチャーナイトという学生間の異文化交流の機会があります。現地研修終了後には、シンガポール2泊3日観光も予定しています。

報告書/参考資料



立命館・ワシントン大学

アメリカ合衆国

シアトル

参加費用
(目安)

133～185 万円

本学支援金

約39万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年3月28日(日)～7月18日(日) 113日間

【出発】伊丹空港

おすすめPOINT

- ▶ アカデミック英語とビジネス英語力UP!
- ▶ ビジネススキル向上を目指す!
- ▶ 多種多様なアクティビティに参加!

都市・大学紹介

都市	シアトルは、アマゾンやマイクロソフトなど世界の有名企業が集まる街。教育水準が高く、文化的にも自由で進歩的な気質がある。海と山に囲まれ、豊かな文化とアウトドアが楽しめる。
大学	1861年創立。アメリカを代表する研究型総合大学。世界的に評価される研究機関として知られており、特に情報技術、バイオテクノロジー、環境科学の分野で、多くのプロジェクトが行われている。

スケジュール

出発 アメリカ・シアトルへ(乗り継ぎあり)
【航空会社】日本航空

滞在中

- ・アカデミック、ビジネス英語講義
- ・サステナビリティ関連授業
(Introduction to Sustainability, Business Entrepreneurship for Sustainability)
- ・ゲストスピーカー講義、現場視察
- ・アクティビティ
(現地学生交流・スポーツなど)
- ・学内施設利用(図書館・ジムなど)

帰国 日本へ(乗り継ぎあり)

形態 カスタム型(本学単独のプログラム)

人数 12～25名 ※書類選考にて参加者を決定

滞在 ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。

単位 10単位(春学期単位授与・受講登録上限外)

食事 朝・昼・夕3食

要件 語学要件：あり(以下記載レベル以上の語学力証明書が必要) ※学部・回生など応募資格を確認してください。

査証 日本国籍：F-1学生ビザ取得 ※代行申請 / パスポート有効期限：出国日まで

その他 別途、ホームステイ費用が必要です。(下記参照)

【語学要件】TOEFL ITP® 450点以上・TOEFL iBT® 3(旧スコアスケール45点)以上・TOEIC®L&R / IPテスト500点以上・IELTS 4.5以上・VELC or CASEC (TOEIC®L&R目安スコア：500点以上相当)

【学籍】詳細は31ページを確認してください。※留学期間中も本学学費を所定期日までに納入する必要があります。

【パスポート】合格発表後すぐ(11月4日)にパスポートのコピーデータを提出いただく必要があります。渡航に有効なパスポートを所持していない方は、期日までに提出できるよう申請・更新手続きを行ってください。

【ビザ申請について】

12月下旬～1月下旬の平日に大阪米国総領事館(面接枠に空きがない場合は東京米国大使館)にビザ面接に行ってください(交通費別途要)

【ホームステイ費について】※上記、プログラム参加費用にホームステイ費用は含まれていません。

ホームステイ費合計：約\$4,866.6 (Placement fee含む) ※別途インターネット使用料(約\$30/月)必要。

<支払い方法>

- ・クレジットカード事前支払い：\$375(Placement Fee)+\$100(初月のホームステイ費用一部)
- ・ホストファミリーへ直接支払い：\$1,225(毎月1回)

プログラムの特徴

- 合計15週間の中で、サステナビリティの基本概念、持続可能なビジネス実践における情報収集・分析について理解を深め、どのようにビジネスの効率化や企業のサステナビリティの向上に活用されているか学びます。
- プロジェクトを通して実際のビジネス課題の解決に活かします。ゲストスピーカーの講義や現場を訪れる機会もあります。
- アカデミック英語、ビジネス英語力向上を目指します。

報告書/参考資料



立命館・カリフォルニア大学デービス校

アメリカ合衆国

デービス

参加費用
(目安)

224～236 万円

本学支援金
 約46万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年3月31日(水)～9月5日(日) 159日間

【出発】伊丹空港

おすすめPOINT

- ▶ 英語力とアカデミックスキルの向上を目指す!
- ▶ 日本を含む数多くの留学生と共修できる!
- ▶ 多種多様な課外活動に参加できる!

都市・大学紹介

都市 住民の大半が大学の学位を持っていることから、『全米で最も教育を受けている街』の一つに数えられ、治安が良く住みやすい大学都市。州都サクラメントから西に18km、サンフランシスコから北へ113kmと、大都市へのアクセスの良い郊外都市。

大学 UCデービス校はカリフォルニア大学10のキャンパスのひとつで、1905年に設置された大規模州立総合大学。緑あふれる広大なキャンパスで3万人以上が学ぶ。

スケジュール

出発 アメリカ・サンフランシスコへ(乗り継ぎあり)
【航空会社】全日航空

滞在中

- ・レベルにわかれて受講
(Listening& Speaking, Wordcraft, SDGs, Academic Literacy 等)
- ・大学施設を使つての自学自習

※現地キャンパス内の設備使用・活動参加についてはご利用いただけない場合あり。

Spring Quarter: 2027/4/2～6/11
Summer Quarter: 2027/6/25～9/3

帰国 日本へ(乗り継ぎあり)

形態 オープン型(他国と日本の他大学生を含む)

人数 10～30名 ※書類選考にて参加者を決定

滞在 ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。

単位 16単位(春学期単位授与・受講登録上限外) **食事** 朝・昼・夕3食

要件 語学要件: あり(以下記載レベル以上の語学力証明書が必要) ※学部・回生など応募資格を確認してください。

査証 日本国籍: F-1学生ビザ取得 ※代行申請 / パスポート有効期限: 出国日まで

その他 別途、現地大学主催のオプションルツアーの費用が必要。

【語学要件】TOEFL ITP® 450点以上・TOEFL iBT® 3 (旧スコアスケール45点) 以上・TOEIC®L&R / IP テスト 500点以上・IELTS 4.5 以上・VELC or CASEC (TOEIC®L&R 目安スコア: 500点以上相当)

【学籍】詳細は31ページを確認してください。

※留学期間中も本学学費を所定期日までに納入する必要があります。

【パスポート】合格発表後すぐ(11月4日)にパスポートのコピーデータを提出いただく必要があります。渡航に有効なパスポートを所持していない方は、期日までに提出できるよう申請・更新手続きを行ってください。

【ビザ申請について】

12月下旬～1月下旬の平日に大阪米国総領事館(面接枠に空きがない場合は東京米国大使館)にビザ面接に行ってください(交通費別途要)

【GSPへのコース変更について(任意、条件有)】 ※詳細は渡航前ガイダンスにてご案内します。

本プログラム「Academic Engagement Track(AET)」において、第1学期終了後、所定の条件を満たしている場合、AETでは提供していない科目(例: 大学のESL科目あるいは正規科目)を受講できる「Global Study Program(GSP)」へコースを変更することができます。

※GSP授業料等、追加費用がかかります。(希望者は現地到着後、自身でコース変更手続き要。)

※参考: <https://globalstudy.ucdavis.edu/> (UC Davis Global Study Program)

プログラムの特徴

- UCデービス校エクステンション(Continuing and Professional Education International)提供のAcademic Engagement Trackを計20週受講し、アメリカの文化・社会に関する様々なトピックを取り上げ、英語力向上を図ります。
- ワークショップまたはゲストスピーカーによるセッションを通じて、キャリアに関する知識や考え方を学ぶ機会があります。(予定)
- 現地大学主催オプションルツアー(ヨセミテ、ロサンゼルスなど)に参加することもできます。(自由参加・別途料金)

報告書/参考資料



11. 参加費用について

コース別情報に掲載されている「参加費用（目安）」は、本要項作成時点で想定される範囲で、支援を差し引いて立命館大学に納入する「参加者負担額」を掲載しています。（支援の反映については次ページを参照してください。）以下の共通事項を確認してください。（個別に異なる内容がある場合は、p.12～28 のコース別情報内に掲載。）

1) 掲載の「参加費用（目安）」に含まれるもの

- ▶ 協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費（授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など）
- ▶ 現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用（コース別情報掲載の「滞在」「食事」条件による）
- ※ 一部コースは、滞在費用が現地支払のため、費用に含まれないものとして別途掲載しています。
- ▶ 航空関連費用（航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手数料など）
- ※ 燃油サーチャージは、募集要項作成時の最新金額と、想定できる範囲の変動幅にて算出しています。
- ▶ その他（協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用）
- ※ 渡航手続き費用は日本国籍基準で、本学を通して代行手続き・支払いができる費用のみ含まれています。

2) 掲載の「参加費用（目安）」に含まれないもの（代表例）

- ▶ パスポート取得・更新に関わる費用
- ▶ 海外旅行保険代（合格者ガイダンスで詳細を案内）
- ▶ 自宅～集合・解散場所間の交通費や、集合・解散時間に対応するため各自で必要になる国内宿泊費など
- ▶ コース別情報内、「食事」欄に掲載されている食事提供条件以外の、留学期間中の食事代
- ▶ 現地で支払いが必要な諸費用、および、オプションツアーなどで各自選択・支払いする費用など
- ▶ 現地滞在先と協定校間の通学交通費（コースにより、バス定期券などが含まれる場合があります）
- ▶ 超過手荷物料金（手配された各種運送機関で定めた無料受託範囲を超過した場合に、個別にかかる費用）
- ▶ 予防接種等の費用（予防接種が参加条件となっているコースも、参加費用には含まれません）
- ▶ 個人精算が必要な諸手続費用（外国籍参加者を含め、個人での手続や支払いが必要な渡航手続き費用など）
- ▶ その他、個人にかかる費用：（現地での飲料・間食・日用品・生活雑貨・土産など）

3) 「参加費用」の支払い時期と、費用変動について

- ▶ 参加費用は、2 回に分けて納入していただきます。計画的に準備をしてください。（p.3～4 に納入期限掲載）

① 1次納付金（申込金） 抽選結果・合格発表時の案内に沿って、発表後、数日以内に納入いただきます。	▶ GFP ・ AGFP プログラム ▶ その他 短期留学プログラム ▶ 1 セメスター留学プログラム	100,000 円 200,000 円 300,000 円
② 2次納付金（参加費用 残金） 12 月中に納付案内（金額・内訳）を通知し、年明け（1/7）に納入いただく予定です。	出発 1～2 カ月前に最終費用を確定し、参加費用から、納入済みの「1次納付金」と「本学からの支援金」を差引いた金額を案内して、納入いただきます。	

- ▶ 参加費用は以下の要素により変動するため、2 次納付金を案内する際、実費算出します。

- ▶ 航空会社設定の燃油サーチャージ（原油価格により変動、最終費用案内時に確定）
- ▶ 参加人数
- ▶ 協定校との調整により発生する必要な内容修正
- ▶ 現地通貨の送金時レート

- ※ 参加費用の目安範囲が、上下 10 万円以上あるコースは、原則、参加人数による費用変動が大きいからです。参加者数が定員に近く、燃油サーチャージの金額がある程度下がれば、目安範囲の下限に近い費用になります。
 - ※ 緊迫する中東情勢による航空燃料価格の高騰や、欧州便を中心としたルート変更に起因する航空運賃の上昇により、今年度の参加費用目安は、コースによって昨年度比で大きく上回っております。
- なお、掲載している費用は現時点の燃油サーチャージを基に、上下 2～6 万程度の変動を予測した値です。予測を超えて変動した場合、最終費用が掲載範囲を上回る、または下回る場合がありますので、予めご了承ください。

12. 奨学金と経済的支援

立命館大学ではグローバル人材育成のために、以下の奨学金や経済的支援を行っています。
コース別情報では以下 **1)** と **3)** を合算した「本学支援金」を差し引いて「参加費用（目安）」を掲載しています。

1) 立命館大学 海外留学に係る奨学金（原則、参加者全員適用・申請不要）

本学では、立命館大学が海外留学費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加と修了を奨励しています。
原則、本要項に掲載されたプログラムの参加者全員に返還不要の奨学金が給付されます。

- ・ **2026 年度中に実施する短期プログラム**：「海外留学チャレンジ奨学金」が適用されます。
給付額は、参加プログラムやコースの総額費用に応じて異なります。「2 次納付金納入のご案内」では、留学費用の総額・内訳と、奨学金をあらかじめ差し引いたうえで、実際に納入いただく金額をお知らせします。
- ※ 参加を辞退した場合や、本学から資格取消・途中帰国措置を命じられた場合は、奨学金は給付されません。
案内する参加負担額以上の実費取消料が発生した場合、追加支払いが必要になりますのでご注意ください。

【支援額等の詳細】（立命館大学 海外留学プログラムホームページに掲載）

https://global.support.ritsumeai.ac.jp/hc/article_attachments/20872747852051

- ※ 海外留学にかかる学外奨学金（給付型）の支給総額が本奨学金を上回る場合は併給できません。
- ※ プログラムによっては、本奨学金に代わって「校友会特別奨学金」が適用、給付される場合があります。
- ・ **1 セメスター留学（2027 年度派遣）**：2027 年度以降の海外留学に係る奨学金制度については、現在制度の見直しを進めています。1 セメスター留学については、新たな奨学金制度が適用される予定ですが、支援内容および支給額は現行制度と同水準となる見込みです。制度名称その他の詳細については、決定次第、STUDENT PORTAL 等を通じて案内します。なお、制度確定に伴い、追加の手続や書類提出をお願いする場合があります。

2) その他の海外留学を支援する奨学金（希望者による応募）

必要に応じて「立命館大学 海外留学プログラム」ホームページに掲載の情報を確認してください。

「立命館大学の留学プログラムに参加する際の奨学金はありますか？（学部生）」

<https://global.support.ritsumeai.ac.jp/hc/ja/articles/19288398251283>

参加者全員が受給できる上記「1) 立命館大学 チャレンジ奨学金」の他に、参加するプログラム・家計基準・成績基準などにより、学内・学外で申請できる奨学金の情報を掲載しています。

- ※ 各奨学金の申請・受給に関して「申請資格」「申請時期・方法」「規約」など、各自で確認してください。

3) 立命館大学 円安による留学費用の負担増を軽減する緊急支援（対象通貨により参加者全員に適用）

立命館大学では、最近の円安基調の為替変動により、海外留学プログラムに参加するための費用負担が、大きくなっている状況をふまえ、2025・2026 年度に実施する海外留学プログラム参加者に対して、経済的な支援を実施しています。参加者が支払うプログラム費用を、現在の為替レートよりも、円高になるレート（固定レート）を使って計算することで、費用負担を軽減します。（申請は不要）

具体的には、近年の為替円相場動向を元に、大学が設定した「A.支援額算定基準レート」と、実際に現地通貨の留学費用を海外送金するための「B.送金レート」による差額を、大学が負担します。その為、近年の為替円相場の上昇が高い通貨、海外送金額が多いコースは支援額が大きくなります。

- ※ プログラム情報に掲載の「本学支援金」は、本要項発行時に応募人数による送金額が未確定のため、予測金額を掲載しており、2 次納付金案内時に内訳にて、改めて確定した支援額をお知らせします。
- ※ ただし、海外送金する「B.送金レート」についても、一般的な相場より円高で有利なレートを設定しているため、「A.支援額算定基準レート」との差額が生じない通貨については、本支援の対象外となります。

【緊急支援の案内】（立命館大学 海外留学プログラムホームページに掲載）

https://global.support.ritsumeai.ac.jp/hc/article_attachments/53449022562835

13. 学籍と履修について

本要項に掲載されている留学プログラムは、単位授与を伴う正課のプログラムとして実施されます。
応募を検討する方は、下部のリンクからプログラムに参加した場合の成績評価・単位授与される科目名・単位数・授与分野を確認し、資格取得や履修、卒業時期に影響がないか自身の履修計画を点検してください。

※ 授与される単位科目や自身の履修について不明な方は所属学部事務室（OIC 所属学生は学びステーション）へ相談・確認してください。

1) 学籍・開講科目と単位授与

短期留学プログラム	学籍に変更はありません。（学籍は「在学」です。） 2026 年度冬集中科目（2026 年度秋学期単位授与・受講登録上限外）として開講。 ※ 成績は 2027 年 5 月に公開され、2026 年秋学期に遡及して単位授与されます。
1 セメスタープログラム	学籍は「在学」→「留学」に変更、留学期間は卒業に必要な修業年限に算入されます。 ※ 実際の留学期間に関わらず、学籍上の「留学」期間は、本学学期の期間になり、原則、同じ学期に本学で開講される科目を受講・履修することはできません。 また、教育実習や介護体験等を理由とする留学中の一時帰国は認められません。 事前に、履修計画について学部事務室・学びステーション（OIC）へ相談してください。 ◆ 学び支援サイト（学部事務室等・学びステーションへの事前相談や申請について） https://www.ritsumeai.ac.jp/pathways-future/student_registry/study_abroad.html/ ※ 「ワシントン大学」の成績は 2027 年 9 月に公開、単位授与されます。 ※ 「UC デービス」の成績は 2027 年 10 月に公開され、春学期に遡及して単位授与されます。

※ 単位を授与されるには、単位授与期間に学籍状態が「在学」又は「留学」中である必要があります。

2) 海外留学プログラム単位授与科目一覧

以下の URL から、プログラム参加により授与される単位科目を確認してください。

サイズの大きな PDF ファイルのため、パソコンからの確認を推奨します。

※ 万一、自身の入学年度の単位授与科目一覧が見つからない場合は、国際教育センターへご連絡ください。

◆ 短期留学プログラム【2026 年度 単位授与科目一覧】

https://www.ritsumeai.ac.jp/students/studyabroad/db/2026/zyuyokamoku_new.pdf



◆ 長期・1 セメスター留学プログラム【2027 年度 単位授与科目一覧】

<https://www.ritsumeai.ac.jp/students/studyabroad/db/2027/zyuyokamoku.pdf>

※ 以下に該当する方は、旧カリキュラムの授与科目一覧を確認してください。

- ▶ 2019 年度以前の入学者（全学部）
- ▶ 2020 年度入学の「総合心理学部生」
- ▶ 2021 年度以前に入学の「政策科学部生」「経営学部生」「理工学部 環境都市工学科生」

◆ 短期留学プログラム【旧カリ 2026 年度 単位授与科目一覧】

https://www.ritsumeai.ac.jp/students/studyabroad/db/2026/zyuyokamoku_old.pdf

14. 「ホームステイ」コース応募の承諾事項

海外の一般家庭で生活し、文化や習慣の違いを肌で感じることで「相互理解に基づいた国際感覚を養う」ことは、ホームステイの一般的な主旨ですが、本学が掲げる真の目的は、その先にある「人間的な成長」にあります。普段とは異なる環境で直面するさまざまな課題に対し、自ら主体的に解決を試みる経験こそが、学生を大きく成長させると信じているからです。

近年、この主旨と目的を十分に理解していないことで、現地の実情と自己のイメージとの乖離からトラブルに発展するケースが散見されます。応募にあたっては、募集要項と同時掲載の「ホームステイガイダンス資料」を確認し、ホームステイを単に「楽しい異文化体験」と考えるのではなく、予期せぬ困難も自らを成長させる「学習機会」として前向きに受け止められることが応募の前提となります。よって「ホームステイ」が含まれるコースへの応募は、学生本人および学費負担者（父母等）の双方が、以下の記載事項をすべて承諾し、かつこれらを順守できる場合に限りです。（※参加決定者には、渡航前の「ホームステイガイダンス」にて、より詳細な事前指導を行います。）

なお、ホームステイの手配およびマッチングは、現地の協定校または指定のホームステイ斡旋業者が行います。本学事務局は、申込手続きの管理、および問題発生時における「学生による主体的な問題解決」を、後方から支援する立場であることをあらかじめご理解ください。

滞在形態が「ホームステイ」となっているコースへ応募・参加する際の承諾事項

☐ 主体的な問題解決の徹底

現地で問題が発生した場合は、まずは学生自身がホストファミリーや現地の相談窓口へ直接相談し、解決に向けて主体的に取り組んでください。（そのうえで、なお解決に至らない場合は、大学事務局がサポートにあたります。）

☐ 父母等による介入自粛のお願い

ホームステイ中のトラブルに関しては、原則として学生本人が対応し、父母等から大学や現地関係者へ直接連絡・交渉を行うことは厳に控えてください。「学生から父母に伝えられた情報」と「現地の実情」に、食い違いが生じると、事実確認に多大な時間を要し、問題をさらに複雑化させる要因となります。緊急時を除き、自立した成人として学生本人の主体的な解決を基本とします。

☐ ホストファミリーのプロフィール情報のみに基づく変更希望の自粛

ホストファミリーのプロフィール情報（人種、家族構成、立地、宗教、職業、年齢等）のみを理由とした、変更リクエストや不服の申し立ては「異文化を理解し、多様性を受け入れる」という、ホームステイ本来の主旨に反するため、一切受け付けかねます。

☐ 待遇の比較や過度な要求の自粛

「他の参加者と費用が同じなのに待遇が違う」といった、他家庭との比較による不満を抱くことや、ホストファミリーに対して「費用を払っているのにサービスが悪い」という考え方は、厳に慎んでください。ホームステイは一般家庭への滞在であり、一定のサービスを保証するホテルとは異なります。

☐ 家庭のルール（ハウスルール）の遵守

門限、シャワー、洗濯、食事の片付けなど、各家庭のルールを尊重し、責任ある行動をとってください。

☐ 現地で問題や不満に関して、早期相談の徹底

滞在中に困ったことがあれば、改善に向けてその場でホストファミリーや現地の窓口へ相談してください。

現地で意思表示をせず、帰国後に不満を申し出た場合、事案の解決や改善を図ることはできません。

また、このように現地で対応されないまま帰国後に申し出があった事案については、たとえ事前に案内された滞在条件との相違等によって不利益が生じた場合であっても、原則として補償などの対応は一切行いません。

15. 海外留学プログラム参加に関する承諾事項（1 / 3）

以下（3 枚）の記載事項を理解・遵守することが参加条件です。納得したうえで応募してください。

本書は、立命館大学（以下「本学」という。）国際教育センター主管「海外留学プログラム」（以下「プログラム」という。）に参加するにあたっての、注意事項、遵守すべき事項を記載しています。プログラムに参加するためには、本学の代表学生として派遣されることを自覚し、別紙「承諾書」に本人、および父母等が本書記載事項を承諾した旨の連署をして、提出する必要があります。プログラムへの応募は、本書記載の承諾事項を確認、承諾していることを前提としています。本書記載の承諾事項は、プログラムの募集要項にも掲載をしておりますので、承諾事項の理解不十分により生じた不利益（プログラム合格後の留学派遣資格取消を含みます。）は、すべて本人および父母等の責任となります。

なお、本書記載の承諾事項に違反した場合、または本学の判断により、留学派遣生としてふさわしくない行動をとったと認められる場合は、留学中断による途中帰国指示も含めて、留学派遣資格を取り消すことがあります。

1. プログラム参加手続の履行

- (1) 本学、および派遣先協定校より指示された必要書類の提出、及び Web 登録など留学のための諸手続きや、留学関連費用の納入、必要とされている本学学費の納入は、指定された期日までに行うこと。
- (2) 本学からプログラム参加条件として指定されたガイダンス、事前・事後講義などは正当な理由なく欠席しないこと。
- (3) 既往症、現在疾患、服薬の状況等、指示に従って健康状態を正確に申告し、申告内容に変更が生じた場合は、速やかに再度申告すること、また、参加プログラム出発年度の本学学内（定期）健康診断を必ず受診すること。
- (4) 本学が指定する海外旅行保険、および危機管理支援サービス（以下「海外旅行保険等」と総称する。）に、留学に係る出発から帰国までの期間加入すること。また、派遣先協定校から別途指定があった場合は、本学指定、および派遣先協定校が指定する、それぞれの海外旅行保険等に併せて加入すること。
- (5) パスポートや査証の取得、派遣先協定校に就学するための手続き、海外旅行保険等の加入、航空便や宿泊の手配、派遣先協定校、または協定校が所在する国・地域・自治体が指定する予防接種など、参加するプログラムに応じて、自身ですべき手続きを遅延なく行うこと。万一、それらの遅延によってプログラムへの参加が不可能となった場合や、追加費用が発生するなどの不利益が生じた場合は自己責任であること。
また、上記の各手続きにおいて、本学が指定する手配・取扱業者がある場合は、それらを利用すること。
- (6) 査証取得（発給）については、あくまで渡航国の大使館（または領事館）が判断するため、必ずしも出発までの発給が保証される訳では無く、査証取得が出来なかった場合の取消料や必要経費は申込者本人の負担となること。
- (7) プログラム準備期間、参加期間中、帰国後と、本学が指定する報告を遅滞なく行うこと。

2. プログラム参加に関する規律事項

- (1) 本学、および派遣先協定校の指示に従い、プログラムの目的と趣旨を理解して学習および研究に専念すること。
- (2) 派遣期間中は、日本の法令、本学の諸規則、ならびに派遣先協定校の諸規則および所在する国・地域の法令を遵守すること。（飲酒年齢等、派遣先と日本との法令基準が違う場合は、より厳しい法令基準に従うこと。）
- (3) 麻薬、向精神薬等、日本の法律または派遣先協定校が所在する国・地域・自治体の法律により違法とされる薬物、危険ドラッグ、銃等の所持、使用、購入および日本への持ち込みはしないこと。
- (4) プログラム参加中に、自動車、オートバイ、船舶、航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (5) プログラム参加中に、ピッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、ボブスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等、本学が加入指定の海外旅行保険の補償対象外となる、危険な行為を行わないこと。
- (6) 団体で手配された航空便移動や、現地でのエクスカッションなど、必要な場面においてはグループリーダーや担当者の指示に従い、他の参加者と協力して団体行動をとること。
- (7) 派遣先協定校、もしくはそれ以外で入居した寮などの規則またはホームステイ先の規則に従い、生活すること。
- (8) 派遣先協定校での授業や活動の録音や録画、写真撮影などは、授業・活動における担当者の許可を得ること。

2026 年 1 月改定

15. 海外留学プログラム参加に関する承諾事項（2 / 3）

3. プログラム参加に関する諸条件

- (1) 留学派遣候補者の選抜は、派遣の保証ではなく、派遣先協定校の事情により受入が許可されない場合もあること。
- (2) 派遣渡航期間が、本学における講義・補講、定期試験、追試験等と重なった場合、特別な配慮は行われれないこと。
- (3) プログラム参加中、緊急に医療手当てまたは手術の必要が生じた場合、学生本人、および父母等の個別同意がなくとも、本学または派遣先協定校の担当者の判断によって処置されることがあること。
- (4) 本学、または派遣先協定校により、往復路の航空便や宿泊施設、参加必須の現地プログラムなど指示されている場合はそれらを利用し、途中参加や途中離団は原則認められないこと。
- (5) プログラム終了後は速やかに帰国すること。本学の許可なく、個人的な理由によりプログラム終了後の滞在期間延長、またはプログラム中断による滞在期間の短縮をしないこと。
- (6) プログラム参加中に、旅行または外泊、一時帰国する場合は、指定の届出を期日までに本学に行い、本学または派遣先協定校から計画の変更や中止の指示があった場合は、それに従うこと。
- (7) 特段の事情が無い限り、渡航期間 3 か月未満のプログラムは、日本または母国への一時帰国・再入国が認められていないこと。
- (8) ホームステイでは1家庭、学生寮やホテルでは1部屋に他国、他大学を含め複数名の学生が滞在する場合があります、特段の事情が無い限り、設定人数や割り当てに関する個人的な要望は受け付けないこと。
- (9) 滞在形態がホームステイのプログラムにおいては、ホームステイという形態の趣旨や留意事項をよく確認し、参加者が均一のサービスを受けられる宿泊施設とは大きく異なることをよく理解して応募すること。

4. プログラムの催行中止・参加辞退・途中帰国

- (1) 本学が正当と認める理由以外で、合格後の参加辞退はできないことを理解した上でプログラムへ応募すること。
- (2) 1. (1) (2) に抵触し、本学が留学派遣にふさわしくないと判断した場合、本人の参加意思にかかわらず、留学派遣資格を取り消す場合があること。
- (3) 定められた期日以降にプログラム参加を辞退する場合、本学により留学派遣資格取消や帰国措置を受けた場合、または、本学の責に帰さない事由によりやむを得ずプログラムを中止する場合は、途中帰国する場合を含めて、それまでの手続きに係る費用、取消や変更のために発生する費用、各関係機関が定める取消料・追加費用・外貨支払いのための送金、および為替手数料について、学生本人または父母等が負担すること。
- (4) プログラム費用からの差引を含め、本学から奨学金を受給する場合、当該奨学金の規程にもとづき、参加辞退や途中帰国、または留学派遣資格取消に伴い、給付奨学金の全部、または一部の返還を求められることがあること。
- (5) 医師による診断にもとづき、本学がプログラムの参加・継続が困難であると判断した場合の参加辞退、または、派遣中であってもプログラム中断による帰国措置の指示をすることがあり、それらには速やかに従うこと。
- (6) プログラムが定める教育上の目的が達成できず、留学プログラム参加の継続が困難であると本学、または派遣先協定校が判断した場合、帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (7) 本学は派遣者の生命・身体の安全を最優先し、本邦外務省による海外安全情報にもとづき、派遣先国・地域または都市に対して危険情報、および感染症危険情報レベル2以上が発令された場合、原則、派遣の中止を判断する。
また、レベル1以下の場合でも、派遣者の安全確保、または学習の継続が保証できないと本学が判断した場合は、派遣の中止および早期の帰国を命ずることがあり、中止が判断された時点ですでに留学中の者は、本邦外務省や在外公館の勧告・命令および本学の指示に従い、安全を確保したうえで速やかに日本に帰国すること。

2026 年 1 月改定

15. 海外留学プログラム参加に関する承諾事項（3 / 3）

5. プログラム参加の責任

- (1) プログラム参加中に発生したトラブルについては、基本的に学生本人の責任において対処すること。
- (2) 学生本人が被った人的・物的損害または自己が派遣先協定校もしくは第三者に与えた人的・物的損害が、次の ①～⑥のいずれかにあたる場合、学生本人または父母等の責任において対処し、本学に損害賠償その他のいかなる責任も追及しないこと。
 - ① 自然災害、海難、火災、政府や公共団体の指令、戦争、暴動、ストライキ、盗難、隔離、テロリズム、ハイジャック、犯罪、航空・交通の事故、流行病、税関規則、交通機関の遅延・運休・計画変更、その他の不可抗力により生じた損害
 - ② 本学が管理しえない状況で起こった事件、または事故により生じた損害
 - ③ 学生本人の故意または過失、法令または公序良俗に反する行為により生じた損害
 - ④ プログラムの趣旨・目的から逸脱した学生本人の行為により生じた損害
 - ⑤ 学生本人の個人的問題から生じた損害、および学生本人が行った渡航に関する諸手続、手配等により生じた損害
 - ⑥ 4. (6)に記載される、本学で判断された派遣中止により生じた損害
- (3) 健康管理は自らの責任で行い、必要に応じて常備薬や主治医の紹介状等を現地に持参すること。

6. 個人情報取扱いに関する同意

- (1) 当該プログラムの応募、および参加するにあたって本学に提供された個人情報については、参加プログラムの運営や各手配、諸手続き、緊急時対応に利用する目的の範囲内において、プログラムに携わる派遣先協定校、事務業務受託会社、旅行会社、航空会社、査証取得代行会社、保険会社、保険代理店、危機管理支援サポート会社、外務省（危機管理支援サポート会社を通じての外務省の海外安全情報配信サービスへの登録）およびプログラム運営上必要な場合に限り、同プログラムの他の参加者へ提供されることに同意すること。
また、以下に該当する場合は、事前に本人の同意を得ることなく、第三者へ提供されること。
 - ① 法令に基づく場合、または法令事務の遂行にあたり必要な場合
 - ② 参加者の安全確保のために緊急性を伴い、事前に同意を得る事が困難な場合
- (2) 本学がプログラム運営のために、派遣先協定校等から成績情報、生活情報等の個人情報の提供を受けることや、派遣先協定校に成績情報・生活情報等の個人情報を提供することに同意すること。

7. 肖像権・著作権に関する同意

- (1) 本学の依頼により、留学プログラムの関係者、参加者から提供された写真・映像は、下記に定める目的・条件で使用している限り、肖像権・著作権・プライバシー権等の権利を行使しないこと。
 - 利用目的：
本学の国際活性化のために行われる広報活動、ウェブサイト（YouTube を含む動画サイト）やパンフレット、学内募集チラシなどの公式な広報媒体への掲載、学内広報活動時の映像投影
 - 利用条件：
 - ・ 提供者本人の申し出が無い限り、提供された写真・映像の使用期限はないこと。
 - ・ 提供者本人の承諾を得ることなく、写真・映像と併せて氏名等の情報が広報媒体に掲載されることはないこと。
 - ・ 広報媒体で使用された肖像に関して削除を希望される旨、撮影者または被撮影者から連絡があった場合は可能な限り速やかに対応するが、大量印刷された紙媒体の回収など、対応が困難な場合があること。
- (2) 参加者が本学へ提供する写真・映像については、自ら撮影したものであり、自身以外に写るプログラム参加者を含む人物に関しても、上記 7. (1)に記載の事項について了解を得ていること。
- (3) 自身が写りこんだ写真・映像が使用されることを望まない場合、撮影者へその旨と、本学への提供を控えるよう伝えるなど、明確に意思表示をすること。

以上

2026 年 1 月改定

16. 海外留学プログラム参加に関する承諾書（記入例）

合格後に、以下の承諾書を父母等と連署のうえ提出いただきます。（次ページ参照）

立命館大学国際教育センター主管 海外留学プログラム 参加に関する 承諾書

兼

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金受給者 誓約書

立命館大学国際教育センター主管 海外留学プログラム 参加に関する承諾書

立命館大学長 様

私は、当該の留学プログラムに参加するにあたり、別紙、「立命館大学国際教育センター主管 海外留学プログラム 参加に関する承諾事項」（2026 年 1 月改定：計 3 枚）に記載のすべての事項、および「募集要項」に記載の参加プログラム関連事項、諸条件を確認、遵守することを承諾いたします。

承諾事項に違反した場合、もしくは立命館大学の代表学生としてふさわしくない行動をとったと判断された場合は、プログラムへの参加取消、または途中帰国措置を命じられても、異議を申し立てません。

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金受給者誓約書（受給者のみ適用）

立命館大学 国際部長 様

私は、立命館大学海外留学チャレンジ奨学金の受給にあたり、プログラムおよび奨学金の意義をふまえ、立命館大学の学生としてプログラムの諸活動に励むことを誓約いたします。

また別紙、立命館大学海外留学チャレンジ奨学金規程（2012 年 3 月 7 日 規定第 968 号）に定める事項を理解し、当該規程第 12 条が定める事項に該当する場合には、奨学金の返還を命ぜられても不服を申し立てません。

戸籍やパスポート表記に関わらず、「大学に登録している名前」を正確に、判読できるように記入してください。

【参加者本人】

直筆署名： **立命 花子** 署名日： **2026 年 11 月 4 日**所属 学部・研究科： **国際関係学部** 回生： **2** 学生証番号： **12345678910**参加プログラム 派遣先協定校： **交換留学 イリノイカレッジ** コース名（派遣先協定校名）、及び学生証番号を、正確に記入してください。〒 **525-8577**参加者住所： **滋賀県 草津市 野路東 1-1-1** 住民票登録に関わらず、「現在住んでいる住所」で記入してください。

【父母等】

直筆署名： **立命 太郎** 署名日： **2026 年 11 月 5 日**参加学生との続柄： **父親** 緊急時連絡先（署名者携帯電話等）： **(070) 1234 - 5678**〒 **525-8577**署名者住所： **京都市北区等持院北町 56-1**

父母等の「直筆の署名」をもらってください。
*キーボード入力や、本人と同じ筆跡は受付不可です。

※ 本書に署名する海外留学プログラムの参加者が、立命館大学チャレンジ奨学金
本書は「立命館大学国際教育センター主管 海外留学プログラム 参加に関する承諾書」としてのみ適用されます。

2026 年 1 月改定

17. 合格後に向けた手続準備について

プログラムに合格した学生は、全員必須で以下の書類を指定の期日までに提出する必要があります。

合格から提出締め切りまでの期間が短いため、応募の段階から、早めに準備を進めておくことを強くお勧めします。

【重要】提出物の不備や遅延は、航空券の手配やビザ申請に影響を及ぼし、最悪の場合プログラムに参加できなくなる恐れがあります。計画的な準備を心がけてください。（提出方法の詳細は、合格者ガイダンスにて案内します。）

1) パスポートの取得

留学プログラムに応募する時点で、パスポートを所持していない（発給申請をしていない）学生は、以下の動画を必ず確認して、提出締め切りに間に合うように発給申請の手続きを行ってください。

【パスポート発給申請の手続きに関するご案内】（動画 5 分）

URL : https://youtu.be/E_N7ZerUgTo

参加プログラム	パスポートデータ 提出期限	【窓口】申請の場合の 申請期限目安
「北京大学」「ワシントン大学」 「UC デービス」	11/ 4(水)	10/13(火)
・その他の短期・1 セメスター 留学プログラム	11/25(水)	11/ 2(月)

パスポートを所持していない場合：新規申請から取得までには、通常 2 週間程度の時間を要します。

祝祭日や混雑状況、書類不備によってはさらに時間がかかることもあるため、今後も海外渡航の機会が発生することを考慮して、合格発表を待たずに、パスポート発給申請を進めてください。

すでにパスポートを所持している場合：プログラム終了時まで有効期限が十分にあるか確認してください。

※ プログラム情報ページに、渡航に必要なパスポート有効期間が記載されています。

パスポートデータの提出方法は参加コースによって異なります。合格者ガイダンスにて確認してください。

2) プログラム参加に関する承諾書準備

留学派遣学生は、「立命館大学 国際教育センター主管 海外留学プログラム参加に関する承諾書」兼 **立命館大学 チャレンジ奨学金 受給者誓約書** に、本人及び父母等の「直筆」署名をしたうえで、提出する必要があります。

実家を離れて暮らしている方は、署名の取得に日数を要する場合があるため、早めの準備が必要です。父母等へ応募の承諾を得る際に、p.33～35 の「承諾事項」も必ず共有し、確認・承諾をもらってください。ホームページ、募集要項掲載ページから提出用の「承諾書」書式がダウンロードできますので、p.36 の例に従って、署名（自署）を行い、合格後の提出時まで各自保管してください。

※ 提出までに父母等と対面する予定がない学生は、メールや郵送で直筆署名をもらってください。

※ 提出方法は合格者ガイダンスにて改めて案内します。

※ 受給者誓約書に係る「立命館大学チャレンジ奨学金規定」は合格者ガイダンスにて案内します。

3) 健康診断受診

留学派遣学生は、出発年度の学内健康診断受診が参加条件となっています。学内無料の定期健康診断は春（4-5 月）に終了しているため、未受診の方は有料（2,500 円）になります。

9：30～11：00 もしくは 16：00～17：00 に所属キャンパス保健センターへ行ってください。

【保健センターHP「よくある質問」】 <https://www.ritsumeai.ac.jp/health/faq/students/>

メモ

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.